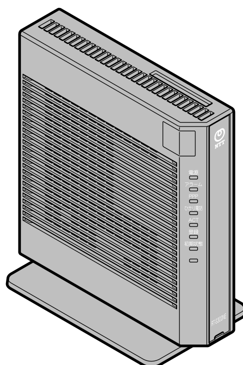
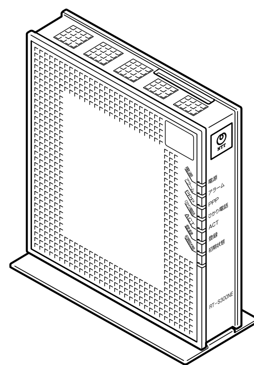
NTT

RT-S300NE

取扱説明書

このたびは、RT-S300NEをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

本書中のマークの説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

■お守りいただきたい内容を次の図記号で説明しています。

⚠記号は、注意事項を示しています。

注　意　　発火注意　　感電注意

⃠記号は、してはいけない内容を示しています。

禁　止　　火気禁止　　風呂等での使用禁止　　分解禁止　　水ぬれ禁止　　ぬれ手禁止

●記号は、実行しなければならない内容を示しています。

電源プラグを抜け

ご使用にあたって

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

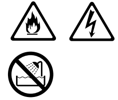
- ●ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- ●本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用になれません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- ●本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- ●本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- ●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- ●この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- ●本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- ●停電時には本商品は使用できません。電源が復旧したあとは、動作を確実にするため、一度電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いた後、10秒以上たってからもう一度差し込んでください。
- ●本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

【返却される場合の留意事項】
本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を返却される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

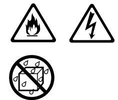
⚠ 警　告

設置場所

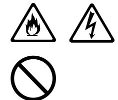
● **風呂、シャワー室への設置禁止**
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



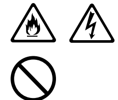
● **水のかかる場所への設置禁止**
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



● **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのモジュラープラグに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。**



● **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。**
・屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所
・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

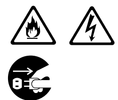


● **自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くに置かないでください。**
本商品に無線LANカードを取り付けてご利用の場合は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くに置かないでください。本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。

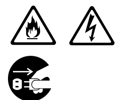


こんなときは

● **発煙した場合**
万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードをそれぞれ抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

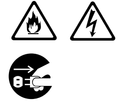


● **水が装置内部に入った場合**
万一、本商品やケーブル、モジュラージャックの内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

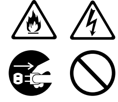


警　告

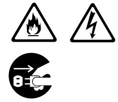
- **異常音がしたり、本商品が熱くなっている場合**
  本商品から異常音がしたり、本商品本体が熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



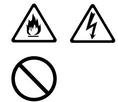
- **異物が装置内部に入った場合**
  本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
  特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- **破損した場合**
  万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



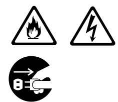
- **電源アダプタの取り扱い注意**
  付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
  また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。



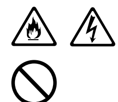
- **電源アダプタの設置の注意**
  電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。
  また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。
  電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。
  電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。



- **電源コードが傷んだ場合**
  電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



- **電源コードの取り扱い注意**
  付属の電源コード以外を使用したり、付属の電源コードを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
  また、電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。
  重い物を載せたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



⚠ 警　告

禁止事項

- **延長コード利用の禁止**
  電源アダプタ（電源プラグ）のコードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。



- **たこ足配線の禁止**
  本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



- **商用電源以外の使用禁止**
  AC100 ± 10V（50/60Hz）の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  差込口が２つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。




- **本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接かかわる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。**



- **分解改造の禁止**
  本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。




- **ぬらすことの禁止**
  本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュラージャックに水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。
  また、電話機コードのモジュラープラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。




- **ぬれた手での操作禁止**
  ぬれた手で本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュラージャックを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



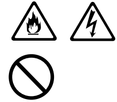
- **本商品の内部や周囲でエアダスターやスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となる場合があります。**



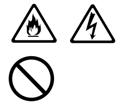
⚠ 警　告

その他のご注意

● **異物を入れないための注意**
本商品やケーブル、モジュラージャックの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



● **本商品の拡張カードスロットの上にコインなどの小さな物を置かないでください。**
重みで拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。



● **航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。**



● **本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。**
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。



● **本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。**



⚠ 注　意

設置場所

● **火気のそばへの設置禁止**
本商品やケーブル類、電話機コード、電源アダプタを熱器具に近づけないでください。ケースやケーブルの被覆などが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



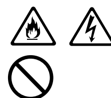
● **温度の高い場所への設置禁止**
直射日光の当たるところや、温度の高いところ（40℃以上）、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



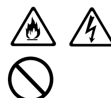
● **温度の低い場所への設置禁止**
本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。



● **湿度の高い場所への設置禁止**
風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度85%以上）では設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



● **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**
調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● **不安定な場所への設置禁止**
ぐらついた台の上や傾いた所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



● **本商品を逆さまに置かないでください。**



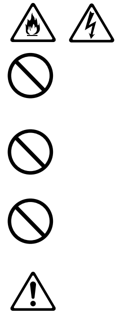
● **通風孔をふさぐことの禁止**
本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
・横向きに寝かせる
・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける
・毛布や布団をかぶせる



● **横置き・重ね置きの禁止**
本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



⚠注　意



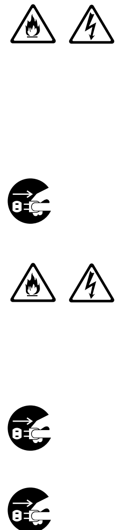
- **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**
- **屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。**
- **塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。**
- **本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け設置してください。落下して、けが・破損の原因となることがあります。**

禁止事項



- **乗ることの禁止**
  本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

電源

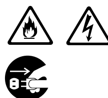


- **プラグの取り扱い注意**
  電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  電源アダプタ（電源プラグ）の金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。
- **本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を抜き差しをする場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いたら、10 秒以上あけてから差し込んでください。**
- **電源アダプタ（電源プラグ）の清掃**
  電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
  清掃の際は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。
- **長期不在時の注意**
  長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。
- **拡張カードの抜き差しは、本商品の電源を切った状態で行ってください。本商品および取り付けたカードが故障することがあります。**

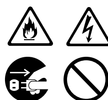
⚠ 注　意

その他のご注意

- **移動させるときの注意**
  移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- **雷のときの注意**
  落雷の恐れのあるときは、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。
  落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。
  雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



- **火災・地震などが発生した場合、本商品の状態を確認し、異常が認められた場合には当社のサービス取扱所までご連絡ください。装置故障の恐れがあります。**



- **本書にしたがって接続してください。**
  間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・ほこりや振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - ・特定無線局や移動通信体のある屋内
  - ・盗難防止装置など2.4GHz周波数帯域を利用している装置のある屋内
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品は、縦置きの場合は縦置き／壁掛け共用スタンドを取り付けて設置してください。
  また、壁掛け設置をする場合には、付属の壁掛け設置用ネジを使用し、縦置き／壁掛け共用スタンドの底面が壁側になるように固定し、本商品の背面が下になるように設置してください。
  転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。
- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。）
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。
  また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。
- 本商品の隙間から虫が入ると、故障の原因となることがあります。
  - ・厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。

お願い

禁止事項

- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。
  ただし、コネクタ部分はよくしぼった場合でもぬれた布では、絶対にふかないでください。
  ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコンにファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。

電話機能に関する注意事項

- ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。
- 本商品の電源が入っていない場合は、ひかり電話をご利用いただくことはできません。
- ひかり電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイドなどで通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。
- ひかり電話や映像コンテンツの視聴などを同時に行い、本商品に負荷がかかった場合に、映像コンテンツの視聴に影響を及ぼす可能性があります。
- お客様のご利用環境によっては、ひかり電話の通話が安定しない可能性があります。
- ひかり電話使用中に本商品の電源が切れた場合、通話が切断されます。また、再起動中、バージョンアップ中は通話ができません。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。

  ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。
- 「Web設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定、電話機からの設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が切断される場合があります。
- 「Web設定」、電話機からの設定により、ひかり電話に対応したIP端末やパソコンなどの通信が切断される場合があります。LAN側の設定や無線設定を変更する場合は、通信を終了してから行ってください。
- 本商品に接続した電話機のACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能をオフにしてご利用ください。（設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。）

- 本商品は、ファームウェアを常に最新の状態に保つため、最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯にあわせて、自動的にファームウェアの更新を行います。ファームウェアの更新機能の詳細については、本書の「5 章　本商品のバージョンアップ」よりご確認ください。なお、ファームウェアの自動更新について、以下の点にご注意ください。
  - ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新が行われない場合があります。その場合は、使用後一定時間たってからファームウェアの更新を行ってください。
  - ファームウェアの更新中（1 ～ 2 分程度）は、ひかり電話がご利用になれません。緊急通報などもご利用になれませんのでご注意ください。
  - ファームウェアの更新中（1 ～ 2 分程度）は、すべての接続が切断されます。インターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスをご利用中に、ファームウェアの更新が実行される場合がありますので、ご注意ください。
  - ファームウェアの自動更新が実行されると、ご利用中のインターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスが中断される場合があります。ファームウェアの更新が終了するまでしばらくお待ちください。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分ご注意ください。
- 本商品を返却される場合は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

有線 LAN に関する注意事項

- 有線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

無線 LAN に関する注意事項

- 無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など）により大きく変動します。
- IEEE802.11a（W52）の屋外での使用は電波法により禁止されています。
- IEEE802.11a（W52）は 5.2GHz 帯の周波数を使用しています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n を使用する機器が混在している場合は、使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。
- IEEE802.11n 通信を行うためには、無線 LAN 端末の暗号化を「なし」、「WPA-PSK（AES）」または「WPA2-PSK（AES）」（推奨）に設定する必要があります。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください ……… 2
ご利用前の注意事項 ……… 13
目次 ……… 15
「機能詳細ガイド」について ……… 17
「RT-S300NE 機能詳細ガイド」（CD-ROM）に収録された電子マニュアルの見かた ……… 17
本商品の設定をする ……… 18

1章　最初に確認する
1-1　セットを確認してください ……… 1-2
1-2　各部の名前 ……… 1-6

2章　本商品を設置する
2-1　設置・接続 ……… 2-2
本商品を設置する ……… 2-2
スタンドを付けて縦置きにする ……… 2-2
スタンドを用いて壁掛けにする ……… 2-3
スタンドを用いずに壁掛けにする ……… 2-4
回線に接続する ……… 2-5
フレッツ 光ネクストファミリータイプ／Bフレッツ ハイパーファミリータイプ、フレッツ 光ネクスト／Bフレッツ マンションタイプ光配線方式（NTT東日本）をご契約の場合 ……… 2-5
フレッツ 光ネクスト／ Bフレッツ マンションタイプ VDSL 方式をご契約の場合 ……… 2-8
フレッツ 光ネクスト／ Bフレッツ マンションタイプ LAN 配線方式をご契約の場合 ……… 2-11

3章　ひかり電話の使いかた
3-1　ひかり電話の使いかた ……… 3-2
電話のかけかた ……… 3-2
電話の受けかた ……… 3-3
ひかり電話で発着信できるサービス ……… 3-4
接続可否番号一覧 ……… 3-4
内線通話 ……… 3-5
内線転送 ……… 3-5
3-2　ひかり電話の付加サービスを利用する ……… 3-6
キャッチホン ……… 3-6
ナンバー・ディスプレイ ……… 3-8
発信者情報（番号）の通知について ……… 3-9
ダブルチャネル／複数チャネルを利用する ……… 3-9
マイナンバー／追加番号を利用する ……… 3-10
3-3　ひかり電話のいろいろな使いかた ……… 3-11
内線番号 ……… 3-11
ひかり電話の電話番号 ……… 3-11

キャッチホン・ディスプレイ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-11
割込音通知 ・・・3-12
個別着信 ・・3-12
一斉着信 ・・3-12
着信鳴り分け ・・3-12
モデムダイヤルイン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-12
優先着信ポート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-13
指定着信機能 ・・3-14
通話中の相手先からのメディア変更機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-15
3-4 電話機からひかり電話の設定をする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-16

4章 無線LANのご利用について

4-1 本商品への無線LANカードの取り付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-2
「SC-32NE」、「SC-32SE」、「SC-32KI」、「SC-32HI」のいずれかを
ご利用の場合・・・4-2
「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」をご利用の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-3
4-2 パソコンに取り付けた無線LANカードとの無線LANの設定をする
（無線LAN簡単接続機能）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-5
「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-5
電話機から設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-6
4-3 ゲーム機との無線LANの設定をする（らくらく無線スタート）・・・・・・・・・・・4-7
「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-7
電話機から設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-9
4-4 Windows® 7との無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）・・・4-11
「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-11
電話機から設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-14

5章 本商品のバージョンアップ

5-1 本商品のバージョンアップの流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-2

6章 故障かな？と思ったら

6-1 設置に関するトラブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6-2
6-2 ご利用開始後のトラブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6-8

7章 付録

7-1 本商品の初期化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-2
7-2 索引・・7-3
7-3 仕様一覧・・・7-5

「機能詳細ガイド」について

付属の「RT-S300NE 機能詳細ガイド」（CD-ROM）には、本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が HTML ファイルで収録されています。下記にしたがい CD-ROM を参照していただくか、裏表紙に記載している当社ホームページからご確認ください。

「RT-S300NE 機能詳細ガイド」（CD-ROM）に収録された電子マニュアルの見かた

1 「RT-S300NE 機能詳細ガイド」（CD-ROM）をパソコンにセットする

2 Web ブラウザ（Internet Explorer® など）を起動して「機能詳細ガイド」や、「設定記入シート」のファイルを開く

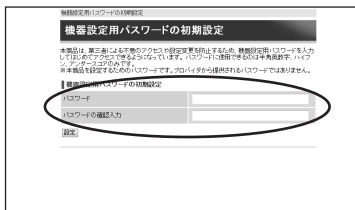
本商品の設定をする

本商品の設定は、Web ブラウザ（Internet Explorer® など）を使って「Web 設定」を起動して行います。

1 **Web ブラウザを起動し、「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時）と入力し、「Web 設定」ページを開く**

2 **機器設定用パスワード（任意の文字列）の初期設定を行う**

パスワードに使用できる文字は 0 〜 9、a 〜 z、A 〜 Z、-（ハイフン）、_（アンダースコア）です。
最大半角 64 文字まで設定できます。





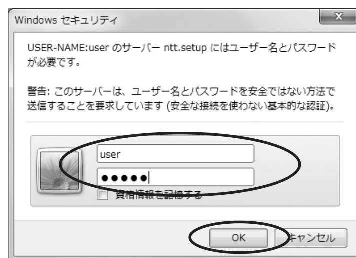
機器設定用パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

機器設定用パスワード

機器設定用パスワードは上記の表に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、本商品を初期化して設定を初めからやり直してください。（☛7-2 ページ）
機器設定用パスワードは第三者に推測されにくいパスワードを登録してください。
パスワードはお客様で厳重に管理してください。

3 **［設定］をクリックする**

4 **ユーザー名に「user」を、パスワードに手順 2 で入力した機器設定用パスワードを入力し［OK］をクリックする**



5 利用タイプで［インターネット接続先を設定する］を選択する

※インターネットの接続先を設定しない場合は、［インターネット接続先を設定しない］を選択し、手順7へ進みます。

6 プロバイダ情報にしたがって接続先ユーザ名、接続パスワードを入力し、サービス情報サイトへの接続の設定を選択する

※Bフレッツをご利用の場合、［フレッツ・スクウェア接続］が表示されます。
（フレッツ 光ネクストをご利用の場合は表示されません。）

接続先ユーザ名：
プロバイダの資料にしたがって、接続先ユーザ名を入力します。
「接続先ユーザ名」はプロバイダによっては「認証ID」、「ユーザID」のように書かれている場合があります。
例： xxxxx@xxxxx.ne.jp

接続パスワード：
プロバイダの資料にしたがって、接続パスワードを入力します。
「接続パスワード」はプロバイダによっては「認証パスワード」、「パスワード」のように書かれている場合があります。

※接続先ユーザ名、接続パスワードに使用できるのは、半角の英数字と記号で最大128文字までです。

※「接続先ユーザ名」を入力した場合は、「接続パスワード」も入力してください。

フレッツ・スクウェア接続：
フレッツ・スクウェアへの接続をご利用になる場合は「設定する」を、ご利用にならない場合は「設定しない」を選択します。
（「機能詳細ガイド」の「設定例」の［フレッツサービス］－［サービス情報サイトを利用するには］）
Bフレッツ（NTT東日本）をご利用の場合に表示されます。

7 ［設定］をクリックする

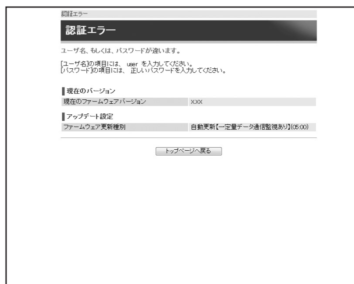
8 ［OK］をクリックする

9 「Web設定」のトップページが表示される

以上でインターネット接続の設定は終わりました。
Webブラウザを閉じて「Web設定」を終了してください。
PPPランプが点灯することを確認してください。
PPPランプが点灯しない場合は「6章 故障かな？と思ったら」（☛6-1ページ）を参照してください。



手順４で認証に失敗すると、下記の画面が表示されます。
［トップページへ戻る］をクリックし、再度ユーザー名、パスワードを入力してください。
※ご利用の環境によっては表示されない場合があります。





お知らせ

●本章の手順で設定された接続先ユーザ名、接続パスワードは「接続先１」に設定されます。「接続先１」の接続モードは「常時接続」に設定されています。
●プロバイダからDNSサーバアドレスを設定するよう案内されている場合は、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4 PPPoE)］を参照してください。
●［フレッツ・スクウェア接続］で「設定する」を選択した場合は、「接続先３」に設定されます。
フレッツ 光ネクストをご利用の場合や、設定を変更する場合は、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4 PPPoE)］を参照してください。
●本章の手順は本商品が工場出荷状態にある場合のみ実行可能です。初期設定後に、設定内容の確認や変更のため「Web設定」を開く際は、手順１に続いて手順４の画面が表示されます。機器設定用パスワードの入力が必要となりますので、手順２で設定した機器設定用パスワードを入力してログインしてください。ログインすると、「Web設定」のトップページが表示されます。
●説明に使用している画面表示は一例です。お使いのWebブラウザやお使いのOSによって画面のレイアウトやボタン名称などが異なります。
●対応するブラウザについては「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［「Web設定」の使いかた］を参照してください。
●「Web設定」の画面デザインは変更になることがあります。
●「Web設定」を操作すると、ひかり電話の通話や内線通話、通信が切断される場合があります。
●「Web設定」を行う際、「工事中のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事中のため本商品の設定はできません。
●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。
●他の設定を実行中は、「Web設定」での設定は行えません。

1 最初に確認する

この章では、付属品や各部の名前、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

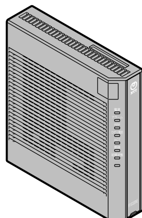
1-1　セットを確認してください……………………1-2
1-2　各部の名前………………………………………1-6

1-1 セットを確認してください

■本商品に同梱されているもの

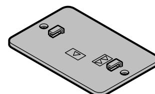
RT-S300NE（本体が黒色）の場合

＜本体＞



RT-S300NE（1 台）

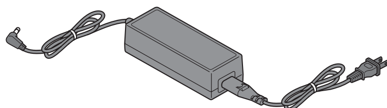
※本書では、RT-S300NE（本体が黒色）の場合を例にして説明しています。RT-S300NE（本体が白色）の場合も設定手順などは同様です。



縦置き／壁掛け共用スタンド（1 台）

※当社工事により取り付け済みの場合があります。

＜付属品＞



電源アダプタ（1 式）

※電源アダプタと電源コードが分離している場合は、電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。

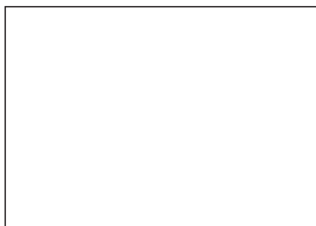
LAN ケーブル（1 本／約 2m）

NTT 東日本：緑色の LAN ケーブルが同梱されております。
LAN ポートにご利用ください。

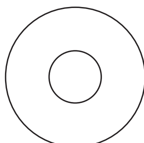
NTT 西日本：水色の LAN ケーブルが同梱されております。
WAN ポートにご利用ください。



取扱説明書
（本書 1 冊）



最初にお読みください
（1 枚）



RT-S300NE
機能詳細ガイド（1 枚）



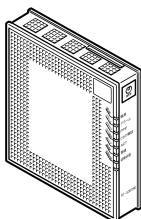
壁掛け設置用ネジ
（2 本／ 16mm）

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

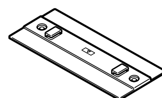
●実際の装置の形状と色はイラストと異なる場合があります。

RT-S300NE（本体が白色）の場合

＜本体＞

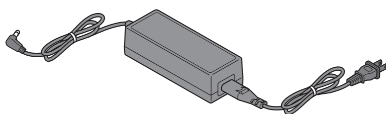


RT-S300NE（1 台）



縦置き／壁掛け共用スタンド（1 台）

＜付属品＞



電源アダプタ（1 式）

※電源アダプタと電源コードが分離している場合は、電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。

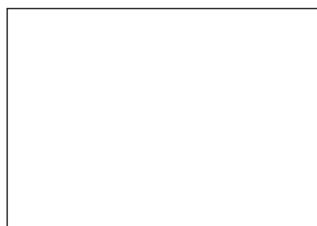
LAN ケーブル（1 本／約 2m）

NTT 東日本：緑色の LAN ケーブルが同梱されております。
LAN ポートにご利用ください。

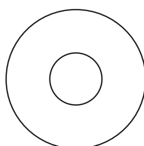
NTT 西日本：水色の LAN ケーブルが同梱されております。
WAN ポートにご利用ください。



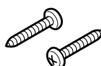
取扱説明書
（本書 1 冊）



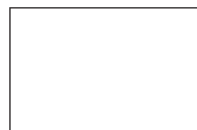
最初にお読みください
（1 枚）



RT-S300NE
機能詳細ガイド（1 枚）



壁掛け設置用ネジ
（2 本／ 16mm）



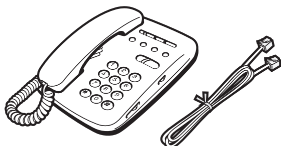
壁掛け用ネジ位置合わせシート
（1 枚）

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
●実際の装置の形状と色はイラストと異なる場合があります。

■お客様にご用意いただくもの

<ひかり電話のご利用に必要なもの>

●電話機



※電話機の電話回線ダイヤル種別は、「PB」に設定してご使用ください。電話回線ダイヤル種別が「DP」の場合、通常の発信や通話は問題なく行うことができますが、「⊛」や「⊞」を用いた電話機からの設定やいくつかの付加機能をご利用になれません。
※ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などはご利用になれません。
※電話機コードもご準備ください。

●開通のご案内
●回線終端装置／VDSLモデムなど当社が設置した機器

<インターネット接続および、設定変更に必要なもの>

● LANポートを持ったパソコン



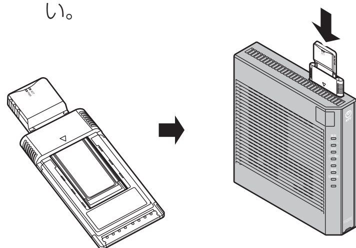
●プロバイダの設定情報

<パソコンとの無線LAN接続に必要なもの>

【本商品側に必要なもの】

[IEEE802.11b/g/nをご利用の場合]

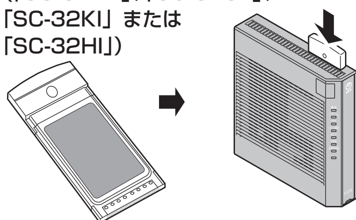
●専用無線LANカード
（「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」※）
※本商品で「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」をご利用になる場合は、「11N-ADP」の装着が必要となります。詳しくは、「4-1　本商品への無線LANカードの取り付け」の「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」をご利用の場合（☛4-3ページ）を参照してください。



※本商品の拡張カードスロットに取り付けて使用します。

[IEEE802.11a/b/gをご利用の場合]

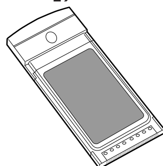
●専用無線LANカード
（「SC-32NE」、「SC-32SE」、
「SC-32KI」または
「SC-32HI」）



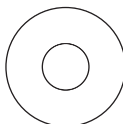
※本商品の拡張カードスロットに取り付けて使用します。

【パソコン側に必要なもの】

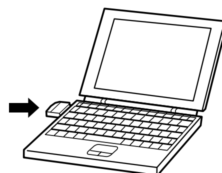
●専用無線LANカード
（「SC-32NE」、「SC-32SE」、「SC-32KI」または「SC-32HI」）※1



●専用CD-ROM（橙）
（「SC-32NE」、「SC-32SE」、「SC-32KI」または「SC-32HI」）※2



● CardBus対応のPCカードスロットを持ったパソコン



※1　無線LAN端末として使用するパソコンなどに取り付けて使用します。OSは、Windows® 7（SP1を含む）およびWindows Vista®（SP2）の各日本語版かつ32ビット（x86）版に対応しています。64ビット（x64）版OS、Mac OS XおよびOS Xには対応しておりません。
専用無線LANカード（SC-32NE、SC-32SE、SC-32KIまたはSC-32HI）はIEEE802.11g/b（2.4GHz帯域）、IEEE802.11a（W52）に対応しています。IEEE802.11a（W53、W56）ではご利用になれません。

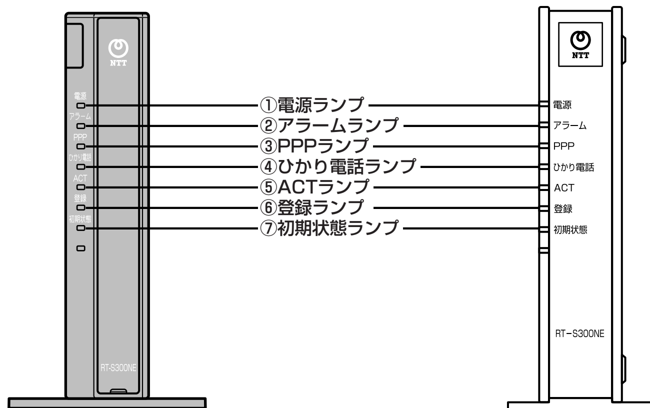
※2　最新のプログラムは「フレッツ簡単セットアップツール」で取得してください。

1-2 各部の名前

本商品各部の名前および機能を説明します。

●前面図

＜RT-S300NE（本体が黒色）の場合＞　＜RT-S300NE（本体が白色）の場合＞



【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
①電源ランプ	ー	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
②アラームランプ ※「無線LAN簡単セットアップ」実行中のランプ表示については1-7ページを参照してください。	ー	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害です。※1 （「6章　故障かな？と思ったら」（☛6-3ページ）を参照してください。）
③PPPランプ	ー	消灯	オフライン状態です。
	緑	点灯	1セッション接続中です。
	橙	点灯	2セッション以上接続中です。
④ひかり電話ランプ	ー	消灯	ひかり電話が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話が利用できます。
		点滅	ひかり電話で通話中／着信中／呼び出し中です。
⑤ACTランプ	ー	消灯	WAN回線が利用できません。
	緑	点灯	WAN回線が利用できます。
		点滅	WAN回線でデータ通信中です。
⑥登録ランプ ※「無線LAN簡単セットアップ」実行中のランプ表示については1-7ページを参照してください。	ー	消灯	ひかり電話の設定がされていません。
	緑	点灯	ひかり電話の設定が完了しています。
		点滅	ひかり電話の設定中です。
	赤	点灯	ひかり電話の設定に失敗しました。（認証エラー）
		点滅	ひかり電話の設定に失敗しました。（その他のエラー）

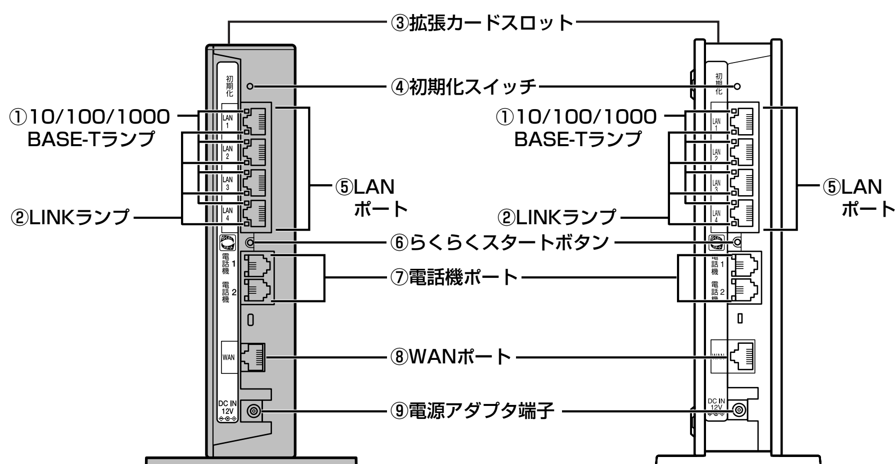
ランプの名称	表示（色）		状態
⑦ **初期状態ランプ**	―	消灯	通常の状態です。
	橙	点灯	工場出荷状態（初期化された状態）です。※ 1 ※ 2
		点滅	IP アドレスが重複しています。 （「6-2　ご利用開始後のトラブル」（☛6-8 ページ）を参照してください。）

※　本商品に電源を入れた際、全ランプが一度点灯します。
※　節電機能動作時は、アラームランプ、PPP ランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプが消灯します。節電機能の詳細については、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［詳細設定］－［高度な設定］－［節電機能］を参照してください。
※ 1 ファームウェアの更新中（手動更新またはファイル指定）はアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプが橙点灯します。
※ 2 本商品が工場出荷状態（初期状態ランプ橙点灯）でも、電源を入れたあと、ひかり電話ランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「Web 設定」を行うと初期状態ランプは消灯します。

【「無線 LAN 簡単セットアップ」実行中のランプ表示】

ランプの名称	表示（色）	状態
登録ランプ	緑点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定準備中です。
	橙点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」で設定のため通信中です。
	橙点灯（10 秒間）	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が完了しました。
アラームランプ	赤点滅（10 秒間）	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定に失敗しました。

●背面図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
① 10/100/1000 BASE-T ランプ（4 個）	ー	消灯	10Mbps でデータ送受信できます。
	橙	点灯	1Gbps/100Mbps でデータ送受信できます。
② LINK ランプ（4 個）	ー	消灯	LAN が利用できません。
	緑	点灯	LAN が利用できます。
		点滅	LAN でデータ通信中です。

【ポート名など】

名称	表示	機能説明
③ 拡張カードスロット	ー	無線 LAN カード（「SC-32NE」、「SC-32SE」、「SC-32KI」、「SC-32HI」または「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」）を取り付けます。（☛4-2 ページ）
④ 初期化スイッチ	初期化	設定を初期化するときに使用するスイッチです。
⑤ LAN ポート	LAN1 ～ LAN4	LAN ケーブルを使用してパソコンなどと接続するためのポートです。
⑥ らくらくスタートボタン	らくらく スタート	「無線 LAN 簡単セットアップ」などの諸設定を起動するときに使用するボタンです。
⑦ 電話機ポート	電話機 1 電話機 2	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。（電話機コードは付属していません。）
⑧ WAN ポート	WAN	LAN ケーブルを使用して回線終端装置／ VDSL モデムなどの LAN ポートと接続するためのポートです。
⑨ 電源アダプタ端子	DC IN	電源アダプタのコードを差し込みます。

2

本商品を設置する

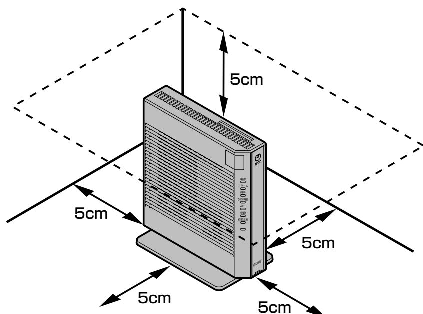
本商品の設置・接続をします。

2-1　設置・接続 ………………………………………2-2

2-1 設置・接続

本商品を設置する

本商品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。
壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。



 注 意

換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

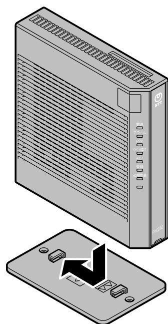
※ RT-S300NE（本体が黒色）の場合を例に説明しています。
　デザインがイラストと異なる場合があります。

冷蔵庫や TV など、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

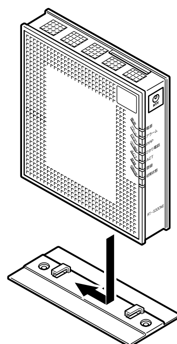
スタンドを付けて縦置きにする

図のように、本商品に縦置き／壁掛け共用スタンドを付けてご使用ください。

＜ RT-S300NE（本体が黒色）の場合＞



＜ RT-S300NE（本体が白色）の場合＞



 注意	本商品は横置きでのご使用はできません。

 **お願い**

- 本商品の拡張カードスロットの上にコインなどの小さな物を置かないでください。
  重みで拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。

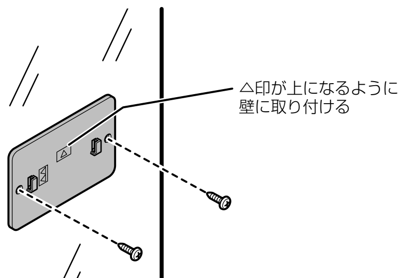
スタンドを用いて壁掛けにする

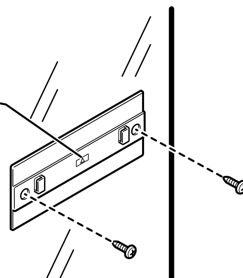
■取り付けかた

あらかじめ縦置き／壁掛け共用スタンドを本商品に取り付けて、設置方向および設置スペースを確認してから、縦置き／壁掛け共用スタンドを壁に取り付けてください。

①縦置き／壁掛け共用スタンドを底面が壁側になるように、壁掛け設置用ネジで取り付けます。

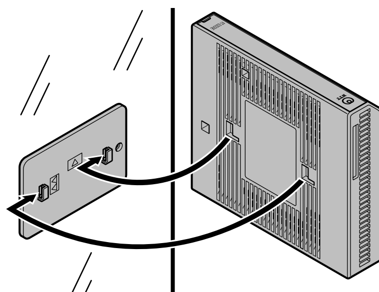
< RT-S300NE（本体が黒色）の場合>　　< RT-S300NE（本体が白色）の場合>

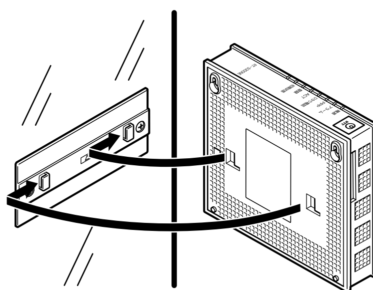




②本商品をスライドさせて固定させます。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。

< RT-S300NE（本体が黒色）の場合>　　< RT-S300NE（本体が白色）の場合>





■取り外しかた

取り付けかたの逆の手順で取り外してください。

お願い

- 壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右に空間を作って設置してください。（☛2-2 ページ）
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態でケーブルの接続などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。
- 無線 LAN をご利用になるときは、壁に本商品を取り付ける前に無線 LAN カードを取り付けてください。

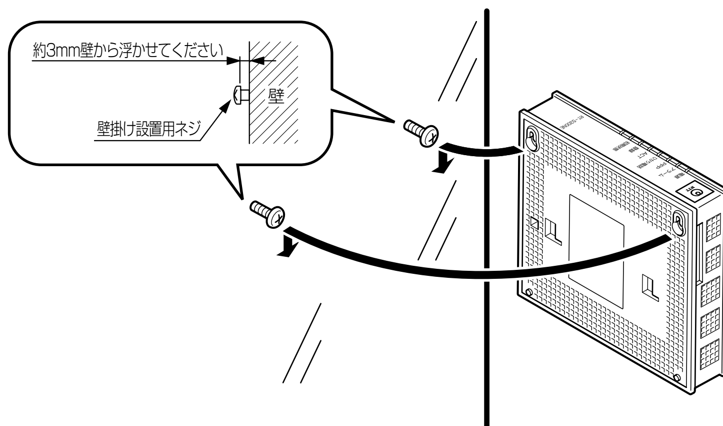
スタンドを用いずに壁掛けにする

※本体が白色の場合のみです。

■取り付けかた

① あらかじめ付属の壁掛け用ネジ位置合わせシートに合わせて、付属の壁掛け設置用ネジを壁２か所に取り付けます。このときネジは最後まで締め付けないで壁から約 3mm の隙間を空けて締め付けます。

②壁に途中まで締め付けたネジに本商品を背面が下になるように取り付けます。本商品側面にある取り付け穴をはめ込み、上側から下側に向けてスライドさせて固定させます。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。
壁掛け後に本商品がガタつくようでしたら、本商品を壁から外して壁に取り付けた２か所のネジの高さを再度調整し、本商品がガタつかないように設置してください。



■取り外しかた

取り付けかたの逆の手順で取り外してください。

STOP お願い

●壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右に空間を作って設置してください。(☛2-2 ページ)
●壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
●壁掛け設置されている状態でケーブルの接続などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
●本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。
●無線 LAN をご利用になるときは、壁に本商品を取り付ける前に無線 LAN カードを取り付けてください。

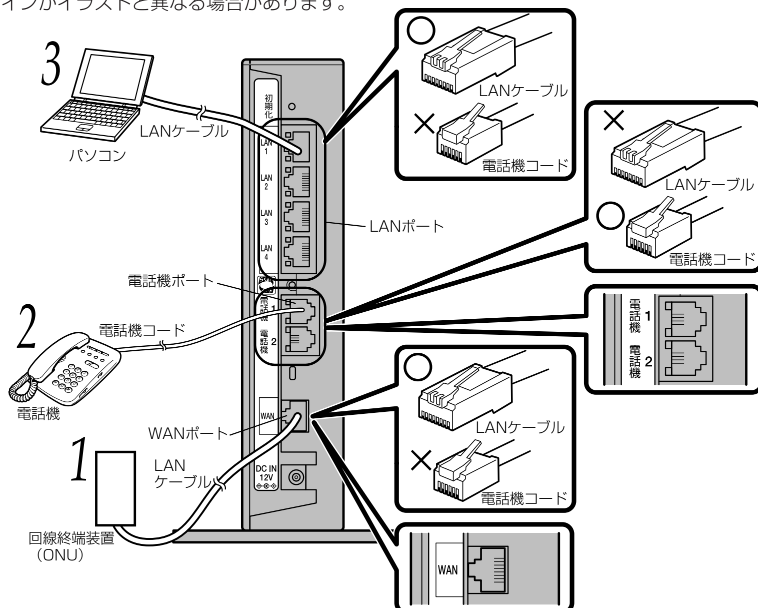
回線に接続する

本商品を回線に接続します。
ご契約の内容によって接続方法が異なります。ご契約内容にあわせて接続してください。

●フレッツ 光ネクストファミリータイプ／Bフレッツ ハイパーファミリータイプ、フレッツ 光ネクスト／Bフレッツ マンションタイプ光配線方式（NTT 東日本）をご契約の場合（☛ 下記）
●フレッツ 光ネクスト／B フレッツ マンションタイプ VDSL 方式をご契約の場合（☛2-8 ページ）
●フレッツ 光ネクスト／Bフレッツ マンションタイプ LAN 配線方式をご契約の場合（☛2-11 ページ）

フレッツ 光ネクストファミリータイプ／Bフレッツ ハイパーファミリータイプ、フレッツ 光ネクスト／Bフレッツ マンションタイプ光配線方式（NTT 東日本）をご契約の場合

※ RT-S300NE（本体が黒色）の場合を例に説明しています。
　デザインがイラストと異なる場合があります。



（次ページに続く）

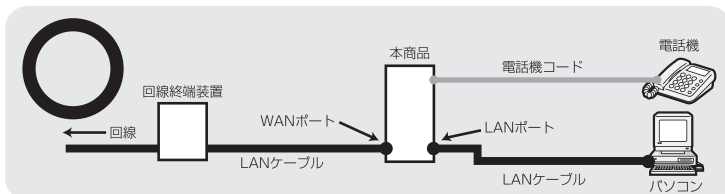
1 本商品のWANポートと回線終端装置（ONU）をLANケーブルで接続する

※本商品と回線終端装置（ONU）を直接接続していただくようお願いします。

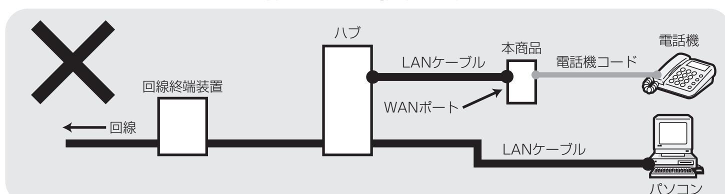


回線終端装置（ONU）とひかり電話ルータの間にハブやルータを接続している場合、ひかり電話を正常にご利用いただくことができない場合があります。

正しい接続構成



推奨しない接続構成



2 電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を接続します。

※ご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

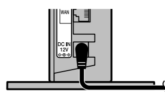
3 パソコンを接続する

本商品のLANポートとパソコンをLANケーブルで接続します。

パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

※ひかり電話の設定を変更せず、ひかり電話のみをご利用になる場合はパソコンの接続は必要ありません。

4 電源アダプタのコードを接続する



このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

 警告	**付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。**

5 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

6 ひかり電話ランプが緑点灯することを確認する

ひかり電話ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。
※電源を入れたあと、ひかり電話ランプが緑点灯するまで５分程度かかる場合があります。
電話機が使えることを確認してください。（「3-1　ひかり電話の使いかた」（☛3-2ページ））
※ひかり電話サービス契約がお済みでない場合は、ひかり電話ランプは消灯のままとなります。



最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。
バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。
（詳しくは「機能詳細ガイド」の「機能詳細説明」の［その他の機能］－［ファームウェア更新］を参照してください。）

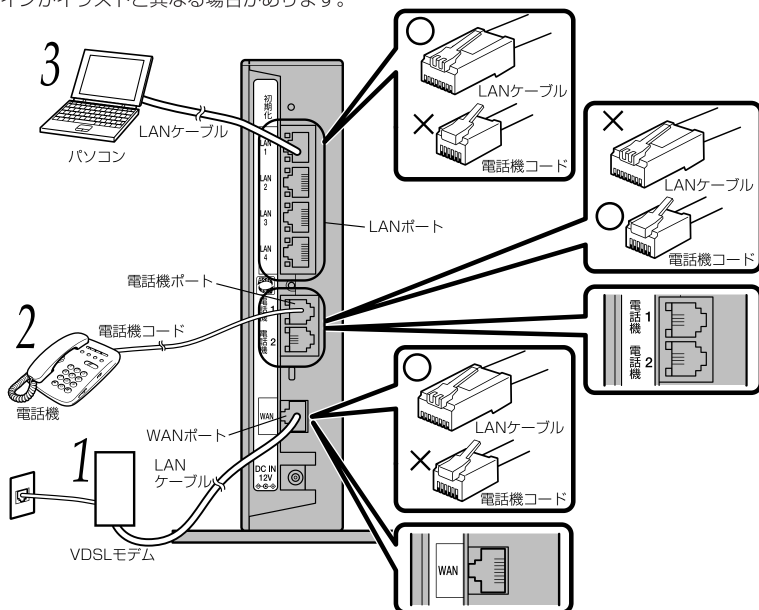


お知らせ

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- 電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「㊜」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などはご利用になれません。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- お客様でLANケーブルをご用意いただく場合、LANポートで1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは1Gbps（1000Mbps）に対応したLANケーブルをご用意ください。1Gbps（1000Mbps）に対応していないLANケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。
- パソコンの電源を入れ、本商品背面のパソコンを接続したLANポートのLINKランプが緑点灯することを確認してください。
- ひかり電話の設定が完了すると本商品前面の電源ランプ、ひかり電話ランプ、ACTランプ、登録ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。
  ランプの状態が異なる場合は、本書の「6章　故障かな？と思ったら」（☛6-1ページ）を参照してください。

フレッツ 光ネクスト／Bフレッツ マンションタイプ VDSL 方式をご契約の場合

※ RT-S300NE（本体が黒色）の場合を例に説明しています。
デザインがイラストと異なる場合があります。



1

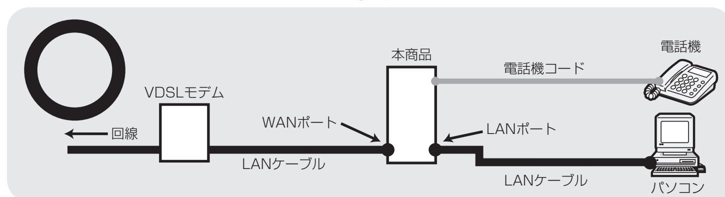
本商品の WAN ポートと VDSL モデムを LAN ケーブルで接続する

※ VDSL モデムの設定方法は各 VDSL モデムの取扱説明書などを参照してください。
※本商品と VDSL モデムを直接接続していただくようお願いします。

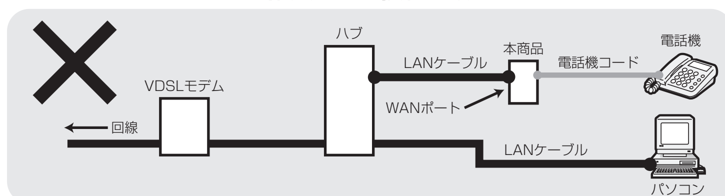


VDSL モデムとひかり電話ルータの間にハブやルータを接続している場合、ひかり電話を正常にご利用いただくことができない場合があります。

正しい接続構成



推奨しない接続構成



2

電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を接続します。
※ご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

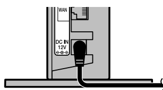
3

パソコンを接続する

本商品の LAN ポートとパソコンを LAN ケーブルで接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。
※ひかり電話の設定を変更せず、ひかり電話のみをご利用になる場合はパソコンの接続は必要ありません。

（次ページに続く）

4 電源アダプタのコードを接続する



このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

 警告	**付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。**

5 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

6 ひかり電話ランプが緑点灯することを確認する

ひかり電話ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。

※電源を入れたあと、ひかり電話ランプが緑点灯するまで５分程度かかる場合があります。

電話機が使えることを確認してください。（「3-1　ひかり電話の使いかた」（☛3-2ページ））

※ひかり電話サービス契約がお済みでない場合は、ひかり電話ランプは消灯のままとなります。



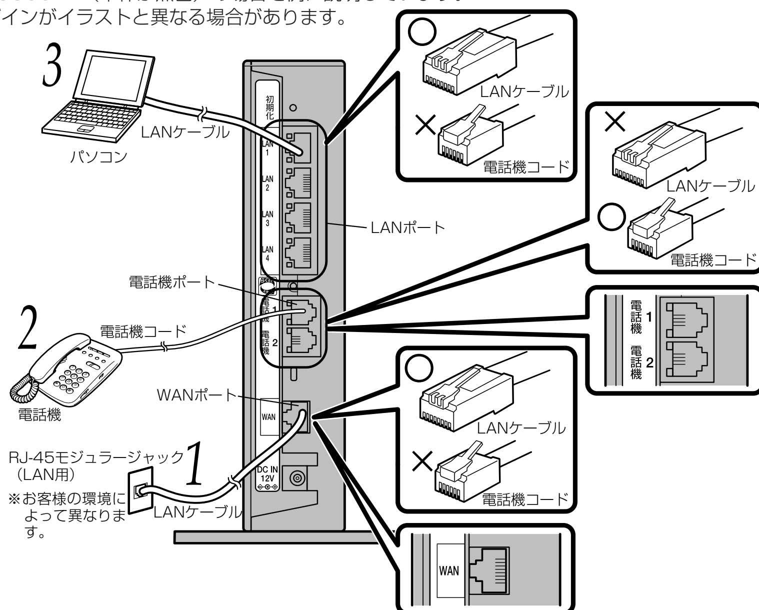
最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。
バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。
（詳しくは「機能詳細ガイド」の「機能詳細説明」の［その他の機能］－［ファームウェア更新］を参照してください。）

 **お知らせ**

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- 電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「Ⓐ」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などはご利用になれません。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- お客様でLANケーブルをご用意いただく場合、LANポートで1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは1Gbps（1000Mbps）に対応したLANケーブルをご用意ください。1Gbps（1000Mbps）に対応していないLANケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。
- パソコンの電源を入れ、本商品背面のパソコンを接続したLANポートのLINKランプが緑点灯することを確認してください。
- ひかり電話の設定が完了すると本商品前面の電源ランプ、ひかり電話ランプ、ACTランプ、登録ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。
  ランプの状態が異なる場合は、本書の「6章　故障かな？と思ったら」（☛6-1ページ）を参照してください。

フレッツ 光ネクスト／Bフレッツ マンションタイプLAN配線方式をご契約の場合

※ RT-S300NE（本体が黒色）の場合を例に説明しています。
デザインがイラストと異なる場合があります。



（次ページに続く）

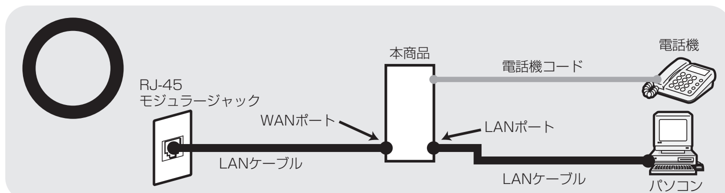
1 本商品のWAN ポートとRJ-45モジュラージャック（LAN用）をLANケーブルで接続する

※本商品とお客様のお部屋にあるRJ-45モジュラージャックを直接接続していただくようお願いします。

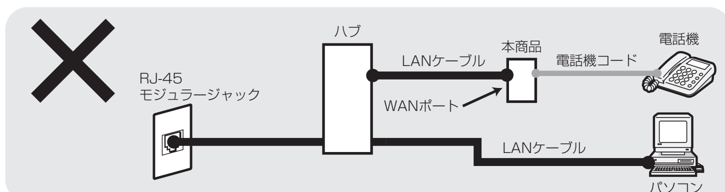


壁のLANポートとひかり電話ルータの間にハブやルータを接続している場合、ひかり電話を正常にご利用いただくことができない場合があります。

正しい接続構成



推奨しない接続構成



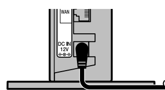
2 電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を接続します。
※ご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

3 パソコンを接続する

本商品のLANポートとパソコンをLANケーブルで接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。
※ひかり電話の設定を変更せず、ひかり電話のみをご利用になる場合はパソコンの接続は必要ありません。

4 電源アダプタのコードを接続する



このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

 警告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

5 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

6 ひかり電話ランプが緑点灯することを確認する

ひかり電話ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。

※電源を入れたあと、ひかり電話ランプが緑点灯するまで5分程度かかる場合があります。

電話機が使えることを確認してください。（「3-1　ひかり電話の使いかた」（☛3-2ページ））

※ひかり電話サービス契約がお済みでない場合は、ひかり電話ランプは消灯のままとなります。



最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。
バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。
（詳しくは「機能詳細ガイド」の「機能詳細説明」の［その他の機能］－［ファームウェア更新］を参照してください。）

 **お知らせ**

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- 電話機は電気通信端末機器適合マーク「 」または「 」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などはご利用になれません。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- お客様でLANケーブルをご用意いただく場合、LANポートで1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは1Gbps（1000Mbps）に対応したLANケーブルをご用意ください。1Gbps（1000Mbps）に対応していないLANケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。
- パソコンの電源を入れ、本商品背面のパソコンを接続したLANポートのLINKランプが緑点灯することを確認してください。
- ひかり電話の設定が完了すると本商品前面の電源ランプ、ひかり電話ランプ、ACTランプ、登録ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。
  ランプの状態が異なる場合は、本書の「6章　故障かな？と思ったら」（☛6-1ページ）を参照してください。

3 ひかり電話の使いかた

ひかり電話をご利用になる場合は、こちらを参照してください。

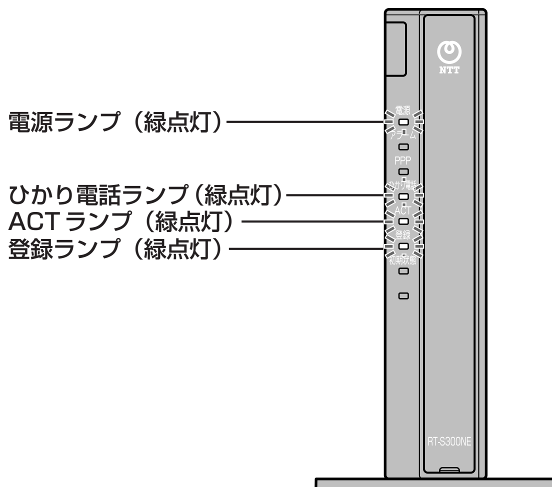
※本章でご案内する各機能や設定をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

3-1　ひかり電話の使いかた ……………………………3-2
3-2　ひかり電話の付加サービスを利用する ……3-6
3-3　ひかり電話のいろいろな使いかた ………3-11
3-4　電話機からひかり電話の設定をする ……3-16

3-1 ひかり電話の使いかた

■ランプの確認

本商品のランプ表示が下記のようになっていることを確認してください。



ご注意

本商品前面のひかり電話ランプが消灯している場合は、ひかり電話のご利用はできません。

※RT-S300NE（本体が黒色）の場合を例に説明しています。
　デザインがイラストと異なる場合があります。

※節電機能動作時は、アラームランプ、PPP ランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプが消灯します。節電機能の詳細については、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［詳細設定］－［高度な設定］－［節電機能］を参照してください。

電話のかけかた

①本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していることを確認します。

②ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。

③相手の電話番号をダイヤルします。
　通常どおり電話番号をダイヤルすると発信します。

④通話が終わったらハンドセットを置きます。

●指定着信番号を指定して電話をかけるには

相手の方が指定着信番号を設定している場合は、手順③で相手の方の電話番号をダイヤルしたあとに、⊛、指定着信番号（最大 19 桁）をダイヤルします。

〈例〉03 ○○○○ ○○○○　⊛ 1234
　　　↑電話番号　　　↑指定着信番号

指定着信番号の設定方法については、「機能詳細ガイド」の「ひかり電話の使いかた」の［ひかり電話のさまざまな使いかた］を参照してください。



お知らせ

- 本商品前面のひかり電話ランプが消灯している場合は、ひかり電話がご利用になれません。（「6章　故障かな？と思ったら」（☛6-1ページ）を参照してください。）
- 本商品に接続した電話機のACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能をオフにしてご利用ください。（設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。）
- お使いになっている電話機の環境やオンフックダイヤル（ハンドセットを置いたままダイヤルする機能）を用いるなどの操作方法によっては、ダイヤルする際に正しく発信できないことがあります。
- 最後の番号を押してから少したつと、電話番号の終了と判断し発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。
- 指定着信番号を指定して電話をかける場合や、番号に続けて「#」（シャープ）を押して発信する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。
  「PB」にできない電話機からは、これらの機能をご利用になれません。電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などを参照してください。
- 通話切断後、続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを置いて2秒以上待ってください。再度ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認してから、ダイヤルしてください。
- 手順②で「ツー」という音のかわりに「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえた場合は、最新のファームウェアが公開されています。「＊＊＊11」をダイヤルして本商品のバージョンアップを行ってください。（詳しくは「機能詳細ガイド」の「機能詳細説明」の［その他の機能］－［ファームウェア更新］を参照してください。）

電話の受けかた

①相手から電話がかかってくると着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげて通話します。

②通話が終わったらハンドセットを置きます。



お知らせ

- 「Web設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定、電話機からの設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が切断される場合があります。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用後一定時間たってから設定を行ってください。

ひかり電話で発着信できるサービス

ひかり電話では、以下の電話サービスとの発着信が可能です。

・NTT 東日本／西日本の加入電話および ISDN
・国際電話（世界約 200 の国と地域）
・携帯電話、PHS
・IP 電話サービス（050IP 電話サービス）
・他社の提供する 0AB ～ J 電話サービス

接続可否番号一覧

ひかり電話で接続できる番号は以下のとおりです。（2014 年 9 月現在）

電話番号	サービス名など	接続可否
0120	フリーアクセス／フリーダイヤルなど	○ ※1
0170	伝言ダイヤル	×
0180	テレゴング／データドーム	×
0180	テレドーム	○
0570	ナビダイヤル	○ ※2
0800	フリーアクセス/フリーアクセス ネクストなど	○ ※1※3
0910	公専接続	×
0990	義援金募集番組 ※4	○
010	国際通話 ※5	○
020	ポケベルなど	○ ※6
050	IP電話	○
070	PHS ※7/携帯電話	○
080	携帯電話	○
090	携帯電話	○
100	100番通話 ※8	×
104	番号案内 ※9	○
106	コレクトコール（コミュニケータ扱い）※8	×
108	自動コレクトコール ※8	×
110	警察（緊急通報）	○
113	故障受付	○
114	お話し中調べ ※10	×
115	電報受付	○
116	営業受付	○

電話番号	サービス名など	接続可否
117	時報	○
118	海上保安（緊急通報）	○
119	消防（緊急通報）	○
135	特定番号通知機能	○
136	ナンバー・アナウンス／ナンバーお知らせ136	×
141	でんわばん／二重番号サービス	×
142	ボイスワープ	○
144	迷惑電話おことわりサービス	○
145	キャッチホンⅡ	×
146	キャッチホンⅡ	×
147	ボイスワープ（ボイスワープセレクト機能）	○
148	ナンバー・リクエスト	○
151	メンバーズネット	×
152	メンバーズネット	×
159	空いたらお知らせ159	×
161	ファクシミリ通信網	×
162	ファクシミリ通信網	×
165	メール送受信	×
171	災害用伝言ダイヤル	○
177	天気予報	○
184	発信者番号非通知	○
186	発信者番号通知	○

※1 フリーダイヤルなどのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容にしている場合、接続できません。
※2 NTTコミュニケーションズ株式会社が提供する「ナビダイヤル」のみ接続できます。ただし、ナビダイヤルのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容にしている場合、接続できません。
※3 フリーアクセス ネクストは、フレッツ 光ライトおよびフレッツ 光ネクストでご利用のひかり電話から接続できます。Bフレッツでご利用のひかり電話から接続された場合は音声通話でのご利用となります。なお、テレビ電話オプションによりご利用いただける映像通信（テレビ電話）での接続については順次対応してまいります。また、ひかり電話ビジネスタイプからは接続できません。
※4 大規模災害発生時に株式会社テレビ朝日が提供する「テレビ朝日ドラえもん募金」、株式会社東京放送ホールディングスが提供する「JNN・JRN共同災害募金」、株式会社フジテレビジョンが提供する「FNSチャリティキャンペーン」をご利用になれます。
*「ドラえもん」は株式会社小学館集英社プロダクションの登録商標です。
*「JNN」「JRN」は株式会社東京放送ホールディングスの登録商標です。
*「FNS」は株式会社フジテレビジョンの登録商標です。
※5 国際フリーダイヤルなど（「010-800」などで始まる番号）には接続できません。
※6 東京テレメッセージ株式会社が提供する020番号を用いたサービス（無線呼出し）にのみ接続可能です。
※7 発信先（相手側）のPHS 端末が圏外、または電源が入っていない場合は、その旨をお知らせするガイダンスではなく、話中音が聞こえます。
※8 「100 番通話（100）」、「コレクトコール（106・108）」は、着信もご利用になれません。
※9 ひかり電話から発信した場合、DIAL104 サービス（案内された電話番号にそのまま接続できるサービス）はご利用になれません。
なお、加入電話・ISDN から発信して、DIAL104 サービスで案内された番号がひかり電話の場合は着信可能です。
※10 ひかり電話のお客さまからのお話し中調べは、0120-444113番でお調べできます（一部お調べできない場合があります。）

ひかり電話で以下の操作はできません
・電気通信事業者を指定した発信（0036 など番号の頭に「00XY」を付与する番号）

通信機器の種類によっては、ひかり電話の付加サービスをご利用になれない、または設定の変更が必要となる場合があります。
「#ABCD」（#+4桁の番号サービス）は、フレッツ 光ライトおよびフレッツ 光ネクストでご利用のひかり電話から接続できます。Bフレッツでご利用のひかり電話については、接続が可能となるよう順次対応しております。

内線通話

本商品の他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話用無線 IP 端末など、LAN ポートに接続された IP 端末などを呼び出して、通話することができます。

①ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
②呼び出す電話機などの内線番号（「1 ～ 9」、「10 ～ 99」の 1 ～ 2 桁）をダイヤルします。
　※内線番号は変更できます。詳しくは、「機能詳細ガイド」の「ひかり電話の使いかた」の［電話設定］－［内線設定］を参照してください。
③通話が終わったら、ハンドセットを置きます。

内線転送

外の相手との電話を本商品の他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話用無線 IP 端末など、LAN ポートに接続された IP 端末などに取りつぎます。

①通話中の外の相手の方に待っていただくように伝え、フッキングします。
②呼び出す電話機などの内線番号（「1 ～ 9」、「10 ～ 99」の 1 ～ 2 桁）をダイヤルします。
　※内線番号は変更できます。詳しくは、「機能詳細ガイド」の「ひかり電話の使いかた」の［電話設定］－［内線設定］を参照してください。
③呼び出された方が応答したら、転送することを伝えます。
④ハンドセットを置いて転送を実行します。

3
ひかり電話の使いかた


お知らせ



●フッキングとは
　電話機のフックスイッチを押すことです。1 秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレス電話機や多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。
●同時に利用できる内線通話・内線転送はどちらか 1 通話です。
●内線番号を押してすぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。
●内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
●ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。

3-2 ひかり電話の付加サービスを利用する

パソコンからの設定方法の詳細については「機能詳細ガイド」の「ひかり電話の使いかた」の［電話設定］を参照してください。

キャッチホン

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。ご使用になるには事前にキャッチホンのご契約が必要となります。

1 お話し中に「プップッ･･･」という割込音が聞こえる

2 相手の方に他から電話がかかってきたことを伝え、フッキングする

最初に話していた方との通話は保留されます。

3 あとからかけてきた方とお話しする

最初に話していた方には保留音が流れます。

4 通話終了後にハンドセットを置く

着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげて最初に話していた方とお話しをしてください。

※フッキングでも切り替えができます。

■キャッチホンサービスおよび通話中の着信について

ご契約の有無	着信者側	発信者側
キャッチホンのご契約がある場合	上記のキャッチホン動作をします。（注１）	呼び出し音が聞こえます。
キャッチホンとダブルチャネル／複数チャネル（☛ 3-9ページ）の両方のご契約がある場合	２チャネルとも通話中のとき、上記のキャッチホン動作をします。（注１） なお、１チャネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たい場合は、割込音通知を「使用する」に設定（※１）してください。（注２）	呼び出し音が聞こえます。（注３）
ダブルチャネル／複数チャネルのご契約がある場合	１チャネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たい場合は、割込音通知を「使用する」に設定（※１）してください。（注２）	呼び出し音が聞こえます。（注３）
キャッチホン、ダブルチャネル／複数チャネルのご契約がない場合	通話中の通話を継続します。（注４）	お話し中音が聞こえます。（注４）

（※１）割込音通知は、電話機から設定できます。（☛3-18ページ）

（注１）キャッチホン契約の場合、「割込音通知」設定にかかわらず、キャッチホンの「プップッ…」という割込音が聞こえます。

（注２）１チャネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきた場合、本商品に接続された別の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。

（注３）１チャネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきて、本商品に接続された別の電話機で着信しないとき、お話し中の電話機が割込音通知を「使用しない」に設定されていると、発信者側にお話し中音が聞こえます。

（注４）内線で通話中の場合は、お話し中の電話機が割込音通知を「使用する」に設定されていると、「プップッ…」という割込音が聞こえます。このとき、発信者側には呼び出し音が聞こえます。



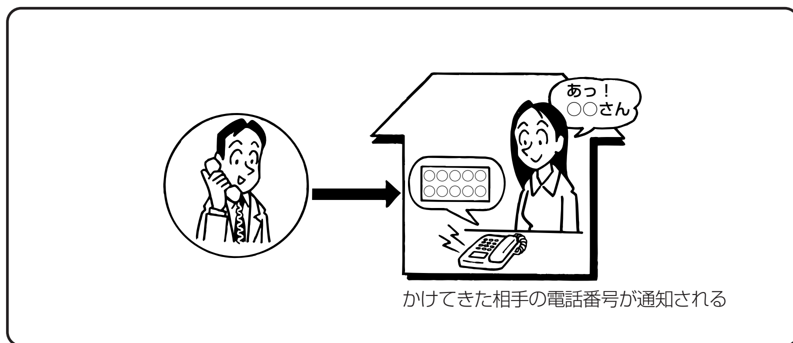
お知らせ



- フッキングとは
  電話機のフックスイッチを押すことです。1 秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレス電話機や多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。
- キャッチホンをご利用いただくにはキャッチホンのご契約が必要です。
- ひかり電話をＢフレッツでご利用の場合は、キャッチホンとダブルチャネル／複数チャネルのサービスを同時にご契約いただくことはできない場合があります。
- キャッチホンやダブルチャネル／複数チャネルで、先にかかってきた電話とお話し中にかかってきた電話とを切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
- ファクス通信中はキャッチホンの動作はしません。ファクス通信中に着信があった場合、発信側にはお話し中音が聞こえます。
- ダブルチャネル／複数チャネルで割込音通知を「使用する」に設定していても、ファクス通信中の電話機には割込音通知は動作しません。
  別の電話機で着信しない場合、発信者側にはお話し中音が聞こえます。

ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。
ご使用になるには事前にナンバー・ディスプレイのご契約と下記の設定が必要になります。



●必要な設定

①本商品にナンバー・ディスプレイを使用する設定を行います。(☛3-18ページ)
※初期値は「使用する」に設定されています。ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用しない」に設定してください。
②電話機ポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続します。
③接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を行います。

 **お知らせ**

●ナンバー・ディスプレイの機能をご利用になるには、iDマーク、ciDマーク、NDマークのついたナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
●ナンバー・ディスプレイサービスをご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
●電話機によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
●電話機の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

発信者情報（番号）の通知について

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号を通知する機能です。
発信者情報（番号）を通知するかどうかは、以下のような条件になります。

●発信時のダイヤル操作
　相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。
●ひかり電話ご契約時の内容
　ひかり電話のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

契約	ダイヤル操作		
	相手先電話番号（通常の操作）	184+ 相手先電話番号	186+ 相手先電話番号
通常通知（通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知（回線ごと非通知）	×	×	○

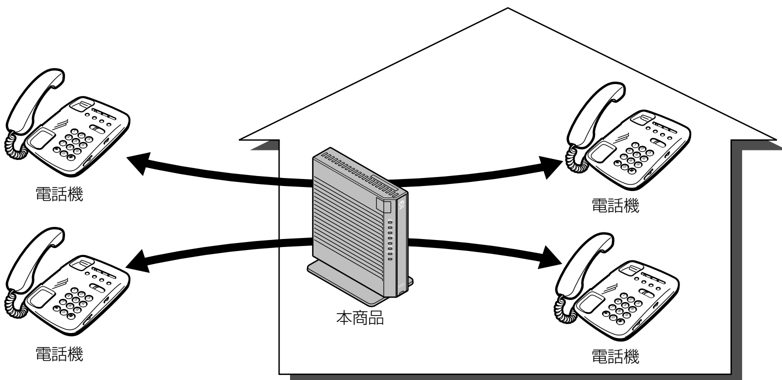
○：通知する　　×：通知しない


お知らせ

●指定着信機能を指定したポートの電話機から発信しても、相手先に指定着信番号は通知されません。

ダブルチャネル／複数チャネルを利用する

1 台の電話でお話し中の場合でも本商品に接続された別の電話機で通話することができます。
ご使用になるには事前にダブルチャネル／複数チャネルのご契約が必要となります。
※お話し中の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。
　「■キャッチホンサービスおよび通話中の着信について」（☛3-6 ページ）を参照してください。

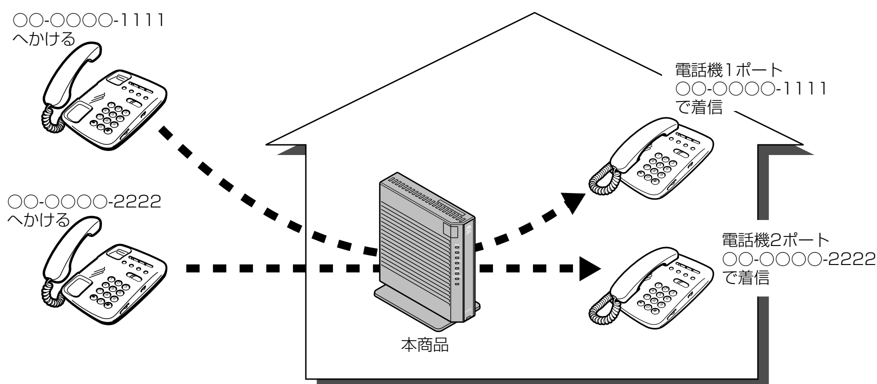


3 ひかり電話の使いかた

マイナンバー／追加番号を利用する

本商品に接続された電話機を別々の電話番号で受けたいときなど、複数の電話番号を持つことができます。
ご使用になるには事前にマイナンバー／追加番号のご契約が必要となります。

※鳴り分けには設定が必要です。（詳しくは「機能詳細ガイド」の「ひかり電話の使いかた」の［ひかり電話のさまざまな使いかた］を参照してください。）



3-3 ひかり電話のいろいろな使いかた

内線番号

使用する内線番号を「1～9」、「10～99」の1～2桁で設定できます。
内線番号の初期値は、次のとおり設定されています。
＜初期値＞

内線番号	内線設定画面
1～2	アナログ端末
3～7	IP端末



お知らせ

●本商品に接続可能な端末は最大7台までですので、同時に使用できる内線番号は最大7つまでです。

ひかり電話の電話番号

ご契約のひかり電話の契約者回線番号および、追加した電話番号を確認できます。

キャッチホン・ディスプレイ

お話し中に着信があった場合、発信者の電話番号をキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
あとからかけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。
ご使用になるには事前に下記のご契約と設定が必要になります。

	必要なご契約	必要な設定
ナンバー・ディスプレイとキャッチホンを組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・キャッチホン	・ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する（☛3-18ページ）
ナンバー・ディスプレイと割込音通知を組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・ダブルチャネル／複数チャネル	・ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する（☛3-18ページ） ・割込音通知を「使用する」に設定する（☛3-18ページ）
ナンバー・ディスプレイとキャッチホン、割込音通知を組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・ダブルチャネル／複数チャネル ・キャッチホン	

※ナンバー・ディスプレイ、割込音通知の初期値は「使用する」に設定されています。キャッチホン・ディスプレイの初期値は「使用しない」に設定されています。



お知らせ

●キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、dD マークのついたキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
●キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイの両方を「使用する」に設定してください。
ナンバー・ディスプレイが「使用しない」になっているとご利用になれません。

割込音通知

ダブルチャネル／複数チャネルでのお話し中や、内線通話中に、かかってきた電話に出ることができます。



お知らせ

●アナログ端末のみで利用できる機能です。

個別着信

内線番号ごとに着信する電話番号を設定することができます。

一斉着信

1 つのひかり電話の電話番号にすべての内線番号で着信するように設定できます。

着信鳴り分け

内線用と外線用で着信音を変えたい場合や電話番号によって着信音を変えたい場合に着信音を変更することができます。



お知らせ

●着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
●アナログ端末のみで利用できる機能です。

モデムダイヤルイン

モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1 台の電話機で複数の電話番号を使い分けることができます。



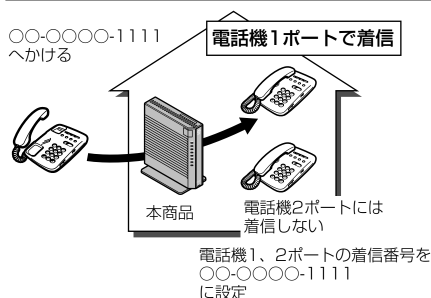
お知らせ

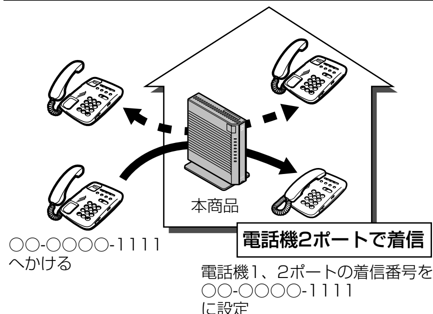
●モデムダイヤルイン対応の電話機などが必要です。操作方法は、ご利用される機器の取扱説明書などを参照してください。
●アナログ端末のみで利用できる機能です。

優先着信ポート

本商品の2つの電話機ポートにそれぞれアナログ端末を接続している場合、優先して着信する電話機ポートを設定することができます。
優先着信ポートをご利用になる場合、IP端末はご利用になれません。

【電話機1ポートを優先着信ポートに設定した場合】





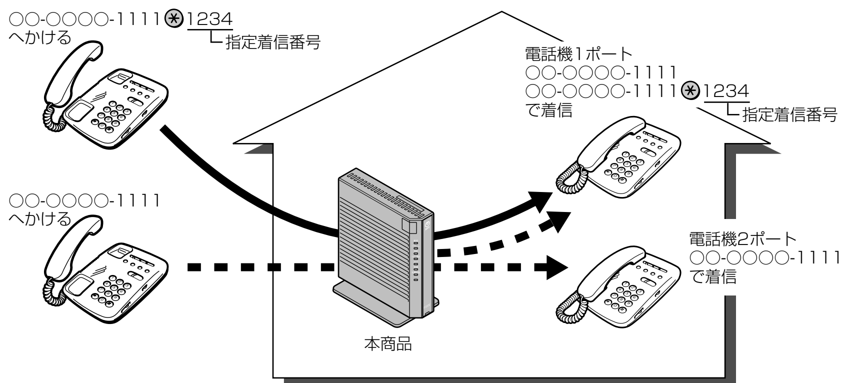
※ダブルチャネル／複数チャネルをご利用の場合、電話機1ポートが通話中にかかってきた電話は、電話機2ポートにのみ着信します。
※キャッチホンサービスをご利用の場合は、電話機1ポートが通話中であっても電話機2ポートには着信しません。通話中の電話機1ポートにキャッチホンの「プップッ・・・」という割込音が聞こえます。


お知らせ

- ●優先着信ポートを有効に設定した場合、電話機1、2ポートを無効に設定できません。電話機1、2ポートを無効に設定する場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- ●電話機1、2ポートで同一の着信番号が1つの場合、優先着信ポートと指定着信機能を合わせてご利用になるには、先に指定着信機能の設定を行ってください。指定着信機能の設定では、「指定なし着信」にチェックしてください。
- ●優先着信ポートを有効に設定した場合、IP端末はご利用になれません。IP端末をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- ●優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知はご利用になれません。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

指定着信機能

指定着信機能を利用すると、相手の方が電話をかけるとき、電話番号に続けて指定着信番号をダイヤルすることにより、特定のアナログポートに接続された端末を呼び出すことができます。





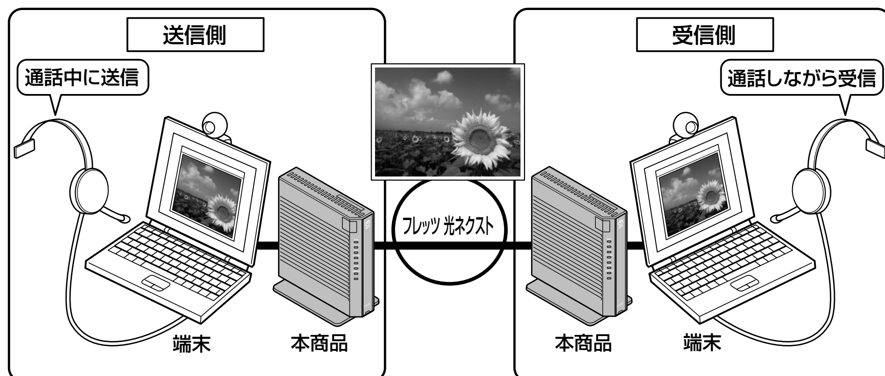
お知らせ

- ●アナログ端末のみで利用できる機能です。
- ●指定着信番号で着信した場合には、キャッチホンはご利用になれません。
- ●マイナンバー／追加番号をご利用の場合でも、指定着信機能をご利用になれる番号は１つだけです。
- ●指定着信番号は０～９の任意の数字で、最大 19 桁となります。
- ●指定着信番号が発信可能な電話回線は、ISDN、ひかり電話、携帯電話となります。なお、携帯電話からの指定着信番号発信の可否は、各事業者により異なります。
- ●ひかり電話から指定着信番号を発信した場合は、ひかり電話以外の回線や NTT 東日本／NTT 西日本のひかり電話提供エリア外へ指定着信させることはできません。

通話中の相手先からのメディア変更機能

フレッツ 光ネクストのひかり電話同士で、本商品に接続された端末を用いて通話している場合には、通話しながら専用の帯域を確保して、画像ファイルなどさまざまな形式のデータを送受信できるようになっています。（端末側でデータの送受信機能に対応している必要があります。）

このお客様がひかり電話同士で通話中に、各種データ送受信を開始する処理のことを、「メディア変更」と呼びます。
本機能では、通話相手からメディア変更の要求を受けたときにそれを許容するか・許容しないかを設定することができます。また、メディア変更を許容しないに設定した場合でも、あらかじめ登録した電話番号は、メディア変更を許容するように設定できます。




お知らせ

- ●あらかじめ登録した電話番号に対するメディア変更を許容するためには、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
- ●「メディア変更を許容する電話番号」に登録した電話番号からメディア変更機能をご利用になる場合は、発信者側の発信者番号を「通知する」に設定してください。設定方法は、ご利用になる機器の取扱説明書などを参照してください。
- ●通話中の相手からのメディア変更を許容する場合、別途通話料がかかることがあります。

3-4 電話機からひかり電話の設定をする

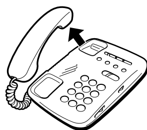
ひかり電話の設定は電話機ポートに接続した電話機から設定することができます。
※無効に設定されている電話機ポートに接続された電話機からは設定できません。

■設定手順

設定手順は次のとおりです。次ページの設定例も参考にしてください。
それぞれの機能を設定する際には「■設定一覧」(☛3-18ページ)を参照してください。

1 ハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。



2 電話機のダイヤルボタンで設定項目の番号を押す

設定項目		
⊛ ⊛ ⊛ ⑨ ⓪	ひかり電話共通設定	➡ 手順4に進む
⊛ ⊛ ⊛ ⑨ ⑨	内線設定（アナログ端末）	➡ 手順3に進む

設定項目が「ひかり電話共通設定」の場合は、手順4に進みます。

3 設定項目が「内線設定（アナログ端末）」の場合は、「ポート番号」を押す

ポート番号	
①	電話機1
②	電話機2

4 「⊛ 機能番号 ⊛ 設定値 ⊞」と押す

〈ひかり電話共通設定の場合〉

機能番号（例）		設定値（例）	
⓪ ⓪	音声優先モード	①	使用しない
		②	優先
		③	最優先

〈内線設定（アナログ端末）の場合〉

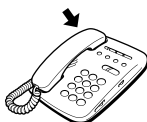
機能番号（例）		設定値（例）	
⑨ ①	ナンバー・ディスプレイ設定	①	使用する
		②	使用しない

※〈内線設定（アナログ端末）の場合〉で複数の設定を行う場合は、手順3に戻って設定します。
※機能番号と設定値については、「■設定一覧」(☛3-18ページ)を参照してください。

5 すべての設定が終わったら、「⊞」と押す

「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、すべての設定値が反映されます。

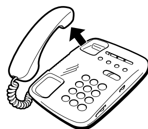
6 ハンドセットを置く



〈設定例：電話機１ポートの電話機を「ナンバー・ディスプレイを使用しない」に設定する〉

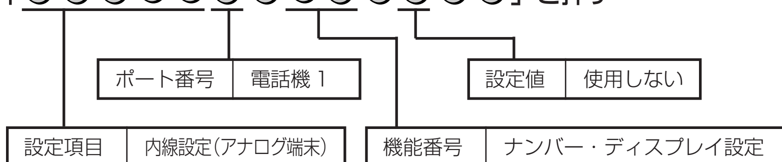
1 ハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。



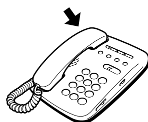
2 電話機のダイヤルボタンを

「＊＊＊⑨⑨①＊⑨①＊②##」と押す



設定が終了すると、「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセットを置く





お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などを参照してください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると、「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 設定を間違えた場合や中止した場合は、設定が無効になります。初めから設定をやり直してください。
- 設定する電話機ポートが使用中の場合は、いったん使用が終了したあと、次の発着信から設定が有効になります。
- １台の電話機で設定中に２台目の電話機から設定することはできません。
- 本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、本商品の設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が切断される場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。

■設定一覧

電話機から設定できるひかり電話の設定は次のとおりです。
「■設定手順」（☛3-16ページ）を参考に、左から順に操作します。

※ダイヤルボタンを押す間隔が 30 秒以上空くと、設定が中止されます。
※各設定項目の詳細は「機能詳細ガイド」の「ひかり電話の使い方」の［電話設定］を参照してください。

【ひかり電話共通設定】（⊛⊛⊛⑨⓪）

※下線 ＿＿＿ は、初期値です。

機能番号	開始操作	⊛	機能番号	⊛	設定値・設定内容	終了操作
00	音声優先モード					
	⊛⊛⊛⑨⓪	⊛	⓪⓪	⊛	①：使用しない ②：優先 ③：最優先	＃＃
01	優先着信ポート ※1 ※2					
	⊛⊛⊛⑨⓪	⊛	⓪①	⊛	①：電話機 1 ポート ②：電話機 2 ポート ③：無効	＃＃
02	アナログポート無効化 ※1 ※2					
	⊛⊛⊛⑨⓪	⊛	⓪②	⊛	①：無効 ②：有効	＃＃
	※無効に設定する場合は、電話機 1 ポートから操作すると、電話機 2 ポートが無効に設定されます。電話機 2 ポートから操作すると、電話機 1 ポートが無効に設定されます。 ※有効に設定する場合は、電話機 1 ポート、電話機 2 ポートのどちらから操作しても、両方の電話機ポートが有効に設定されます。					

※1　設定する場合は、3-20 ページの「お知らせ」を参照してください。
※2　優先着信ポートとアナログポート無効化は連続して設定できません。

【内線設定（アナログ端末）】（⊛⊛⊛⑨⑨）

● 「内線設定（アナログ端末）」では、電話機 1 ポート、電話機 2 ポートごとに設定が必要です。
　電話機 1 ポートの設定→ポート番号①を押す
　電話機 2 ポートの設定→ポート番号②を押す

機能番号	開始操作	ポート番号	⊛	機能番号	⊛	設定値・設定内容	終了操作
91	ナンバー・ディスプレイ						
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または②	⊛	⑨①	⊛	①：使用する ②：使用しない	＃＃
92	モデムダイヤルイン						
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または②	⊛	⑨②	⊛	①：使用する ②：使用しない	＃＃
93	割込音通知 ※1						
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または②	⊛	⑨③	⊛	①：使用する ②：使用しない	＃＃

機能番号	開始操作	ポート番号 ⊛	機能番号 ⊛	設定値・設定内容	終了操作
94	着信番号 ※1				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⑨④ ⊛	（着信番号）	⊞⊞
	※複数の電話番号のうち、着信番号を1つの電話番号（通知番号）に設定する場合は、通知番号の設定を先に行ってください。 ※複数の番号を設定する場合は、「⊛（着信番号）」を繰り返して設定します。3-20ページの「お知らせ」を参照してください。				
95	指定着信機能 ※1				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⑨⑤ ⊛	（着信番号）⊛（指定着信番号）	⊞⊞
96	キャッチホン・ディスプレイ ※2				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⑨⑥ ⊛	①：使用する ②：使用しない	⊞⊞
97	ダイヤル桁間タイマ				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⑨⑦ ⊛	④：４秒 ⑤：５秒 ⑥：６秒 ⑦：７秒 ⑧：８秒	⊞⊞
98	エコーキャンセラ				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⑨⑧ ⊛	①：使用する ②：使用しない	⊞⊞
00	通知番号 ※3				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⓪⓪ ⊛	（通知番号）	⊞⊞
01	内線番号 ※4				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⓪① ⊛	（内線番号）	⊞⊞
	※初期値は、電話機1ポート：1、電話機2ポート：2です。				
02	着信音選択				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⓪② ⊛	（着信番号）⊛ ①：IR ②：SIR	⊞⊞
	※初期値は、外線用：IR、内線用：SIRです。 内線用の着信音は電話機から設定できません。				

※1　設定する場合は、3-20ページの「お知らせ」を参照してください。
※2　ナンバー・ディスプレイが「使用する」に設定されている場合に設定できます。
※3　通知番号に設定した電話番号は、着信番号に設定されます。
※4　内線番号の設定は既存の内線番号には設定できません。（初期値：1～7）



お知らせ

※「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れた場合は、設定に失敗しています。ハンドセットを置いて設定内容を確認して、初めから設定をやり直してください。

●優先着信ポート
- ・優先着信ポートを設定すると、自動的に次のように設定されます。
  電話機 1、2 ポート ： 「有効」に設定されます。
  「割込音通知」は「使用しない」に設定されます。
  すべての IP 端末 ： 「無効」に設定されます。
- ・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、優先着信ポートの設定ができません。
  ①電話機 1、2 ポートで同じ着信番号が設定されていない場合
  ②電話機 1、2 ポートで同じ着信番号が 1 つであり、指定着信番号が設定されていて、「指定なし着信」が「無効」に設定されている場合

●アナログポート無効化
優先着信ポートを有効に設定した場合、アナログポート無効化は設定できません。アナログポート無効化の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れます。
アナログポート無効化の設定を行う場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

●割込音通知
優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知は設定できません。割込音通知の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れます。
割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

●着信番号
- ・着信番号を設定すると、着信番号に設定された電話番号と通知番号に設定されている電話番号が着信する設定になります。それ以外の電話番号は、着信しない設定になります。
  <複数の電話番号を着信番号として設定するには>
  複数の電話番号を着信番号として設定する場合は、「㊍（着信番号）」を繰り返して設定してください。

（例）電話機 1 ポートに着信番号「03 ○○○○ 1111」「03 ○○○○ 2222」を設定する場合


＊ ＊ ＊ 9 9 1 ＊ 9 4 ＊ 03 ○○○○ 1111
＊ 03 ○○○○ 2222 # #


- ・通知番号に設定されていない着信番号に指定着信番号が設定されている場合、着信番号を設定すると、「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、着信番号の設定ができません。
- ・着信番号の設定で着信番号を設定しなかった場合は、通知番号に指定された電話番号以外は着信しない設定になります。

（例）ダイヤルボタンを「＊ ＊ ＊ 9 9 1 ＊ 9 4 ＊ # #」と押した場合

●指定着信機能
- ・指定着信番号を設定すると、指定着信機能は「使用する」に設定されます。「指定なし着信」は「無効」（指定着信番号なしの着信は着信しない）に設定されます。
- ・指定着信番号は、電話機 1、2 ポートで 1 つの番号でのみ使用できます。
- ・指定着信番号を設定すると、その前に設定された指定着信番号は無効になります。
- ・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、指定着信番号の設定ができません。
  ①電話機 1、2 ポートで同じ着信番号が 1 つであり、優先着信ポートが設定されている場合
  ②着信番号に設定していない電話番号に指定着信番号を設定した場合
- ・指定着信の設定で指定着信番号を設定しなかった場合は、指定着信機能は「使用しない」に設定されます。

（例）ダイヤルボタンを「＊ ＊ ＊ 9 9 1 ＊ 9 5 ＊（着信番号）＊ # #」と押した場合

4 無線LANのご利用について

無線LANをご利用になる場合はこちらを参照してください。

4-1　本商品への無線LANカードの取り付け　…4-2

4-2　パソコンに取り付けた無線LANカードとの無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）……………………4-5

4-3　ゲーム機との無線LANの設定をする（らくらく無線スタート）……………………4-7

4-4　Windows® 7との無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）　………………4-11

4-1 本商品への無線LANカードの取り付け

「SC-32NE」、「SC-32SE」、「SC-32KI」、「SC-32HI」のいずれかをご利用の場合

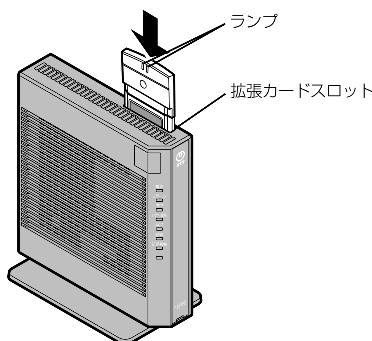
本商品の拡張カードスロットに無線LANカード「SC-32NE」、「SC-32SE」、「SC-32KI」、「SC-32HI」のいずれかを取り付けることにより、無線LAN機能をご利用になれます。

- 取り付けの際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。故障の原因となる場合があります。電源を入れたまま無線LANカードの取り付けや取り外しを行うと、本商品および取り付けた無線LANカードが故障する場合があります。
- 電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。
- パソコンに無線LANカードを取り付けて本商品で無線LAN機能を使用される場合には、パソコンのLANカードまたはLANボード機能を停止させないと無線LANカードが使用できない場合があります。無線LANカードの取扱説明書などを参照してください。

1 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く

2 無線LANカード「SC-32NE」、「SC-32SE」、「SC-32KI」、「SC-32HI」のいずれかを拡張カードスロットの奥まで確実に取り付ける

無線LANカードは図のとおり、本商品のランプ側を右にして無線LANカードのランプが見える方向で正しく取り付けてください。誤った方向で取り付けると本商品や無線LANカードが破損する場合があります。



3 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに接続する

無線LANカードのPWRランプとACTランプ（「SC-32NE」）、またはLINKランプ（「SC-32SE」、「SC-32KI」、「SC-32HI」）が同時に緑点滅することを確認してください。

無線LANカードを取り外すときのご注意

本商品から無線LANカードを取り外すときは、本商品の電源を切った状態で取り外してください。

「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」をご利用の場合

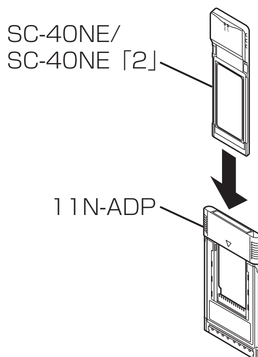
本商品の拡張カードスロットに「11N-ADP」を装着した「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」を取り付けることにより、無線 LAN 機能をご利用になれます。

- ●取り付けの際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。
- ●電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。
- ●電源を入れたまま「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」や「11N-ADP」の取り付けや取り外しを行うと、本商品や「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」、「11N-ADP」が故障する場合があります。
- ●本商品で「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」をご利用になる場合は、「11N-ADP」の装着が必要となります。
- ●パソコンに無線 LAN カードを取り付けて本商品で無線 LAN 機能を使用される場合には、パソコンの LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させないと無線 LAN カードが使用できない場合があります。無線 LAN カードの取扱説明書などを参照してください。

1 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く

2 「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」に、「11N-ADP」を装着する

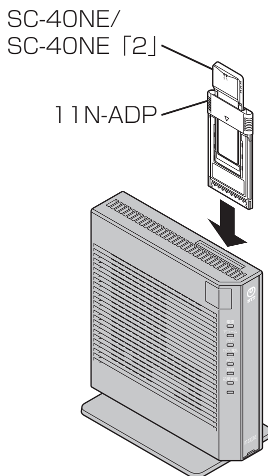
「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」のランプと「11N-ADP」の▽印が同じ面に見える方向で正しく装着してください。誤った方向で装着すると、「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」や「11N-ADP」が破損する場合があります。



（次ページに続く）

3 本商品の拡張カードスロットに「11N-ADP」を装着した「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」を取り付ける

「11N-ADP」を装着した「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」を図のとおり、本商品のランプ側を右にして「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」のランプが見える方向で正しく取り付けてください。誤った方向で取り付けると本商品や「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」、「11N-ADP」が破損する場合があります。



4 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに接続する

「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」のPWRランプとACTランプが同時に緑点滅することを確認してください。

無線LANカードを取り外すときのご注意

本商品から無線LANカードを取り外すときは、本商品の電源を切った状態で「11N-ADP」も取り外してください。「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」単体での取り外しは行わないでください。故障の原因となる場合があります。

4-2 パソコンに取り付けた無線LANカードとの無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）

「無線LAN簡単接続機能」を使用して、無線LANカードを取り付けたパソコンと本商品を無線接続するための設定を行います。
本商品の「無線LAN簡単接続機能」の起動方法には、以下の方法があります。

●「らくらくスタートボタン」で設定する（☛ 下記）
●電話機から設定する（☛4-6ページ）
●「Web設定」で設定する
・おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN簡単接続機能）
・「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式）
・「無線LAN簡単接続機能」（PIN方式）
※おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN簡単接続機能）や「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式／PIN方式）については、「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を参照してください。

●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
●「無線LAN簡単接続機能」での設定中は他の無線接続はいったん切断される場合があります。
●本機能で2台以上の無線LAN端末を同時に設定することはできません。1台ずつ設定を行ってください。
●「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」は本商品以外には使用できません。

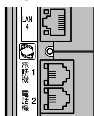
「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）

1 パソコンにインストールした無線LANカードのユーティリティから「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動する

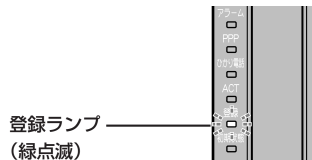


起動方法は、無線LANカードの取扱説明書などを参照してください。

2 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら放す



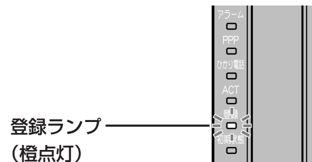
「無線LAN簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定によっては橙点滅する場合があります。）





設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（「お知らせ」（☛4-6ページ）を参照してください。）

3 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する





設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（「お知らせ」（☛4-6ページ）を参照してください。）

無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

1 パソコンにインストールした無線LANカードのユーティリティから「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動する

起動方法は、無線LANカードの取扱説明書などを参照してください。



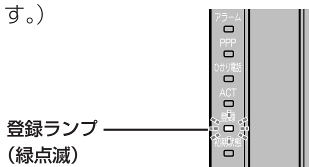
2 電話機のハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。



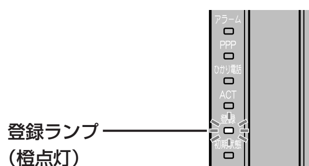
3 電話機のダイヤルボタンを「⊛⊛⊛⓪⓪」と押す

本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定によっては橙点滅する場合があります。）



! 設定中に「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（「お知らせ」（☛下記）を参照してください。）

4 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

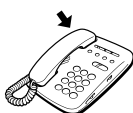


! 設定中に「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（「お知らせ」（☛下記）を参照してください。）

設定が完了すると、電話機のハンドセットから「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

5 ハンドセットを置く





お知らせ

- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 電話機からの設定については、3-17ページの「お知らせ」も参照してください。
- アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、「6-2　ご利用開始後のトラブル」（☛6-8ページ）を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順1から設定を行ってください。

4-3 ゲーム機との無線LANの設定をする（らくらく無線スタート）

「らくらく無線スタート」を使用して、ゲーム機と本商品を無線接続するための設定を行います。
本商品の「らくらく無線スタート」の起動方法には、以下の方法があります。

●「らくらくスタートボタン」で設定する（☛ 下記）
●電話機から設定する（☛4-9 ページ）
●「Web 設定」で設定する
　・おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN簡単接続機能）（「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」の［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］）

●本商品に無線の暗号化が設定されていることを確認してください。
（ただし、WPA2-PSK は「らくらく無線スタート」ではご利用になれません。）
設定されていない場合は電話機から設定することもできます。（「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」の［無線LAN 設定］－［電話機から無線LANの設定をするには］）
●接続するゲーム機が本商品の暗号化方式や暗号化強度に対応していることを確認してください。対応状況に関してはゲーム機の取扱説明書などをご確認ください。
●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN 簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
●本商品の無線の暗号化が「WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）」の状態で「らくらく無線スタート」を使用した場合、自動的に無線LAN 端末を下記の暗号化に設定します。
　・SC-32NE/SC-32SE/SC-32KI/SC-32HI をご利用の場合： WPA-PSK（TKIP）
　・SC-40NE/SC-40NE「2」をご利用の場合： WPA-PSK（AES）
●「らくらく無線スタート」での設定中は他の無線接続はいったん切断されます。
●「らくらく無線スタート」設定中の無線LAN アクセスポイント（本商品）のランプ名称やランプの状態は、ご利用のゲーム機の取扱説明書などに記載されている内容と異なる場合があります。本商品との無線LAN 設定にあたっては、本書の記載内容に読み替えてください。
●本機能で 2 台以上の無線LAN 端末を同時に設定することはできません。1 台ずつ設定を行ってください。

「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）

1 ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する

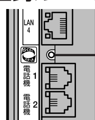


ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

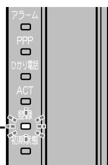
※「らくらく無線スタート」を起動後 1 分以内に次の手順に進んでください。1 分以上たつと自動的にキャンセルされます。

（次ページに続く）

2 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を 1 秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら放す



「らくらく無線スタート」の通信が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。



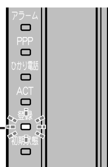


設定中にアラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（「お知らせ」（☛4-10 ページ）を参照してください。）

3 本商品前面の登録ランプが橙点滅することを確認する

「らくらく無線スタート」での設定が開始します。

※30 秒以内に次の手順に進んでください。30 秒以上たつと自動的にキャンセルされます。

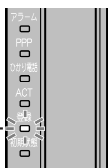




設定中にアラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（「お知らせ」（☛4-10 ページ）を参照してください。）

4 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を 1 秒以上押し、本商品前面の登録ランプが橙点灯したら放す

設定が完了すると、本商品前面の登録ランプが橙点灯します。





設定中にアラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（「お知らせ」（☛4-10 ページ）を参照してください。）

「らくらく無線スタート」での無線 LAN 設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

1　ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する



ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

※「らくらく無線スタート」を起動後 1 分以内に次の手順に進んでください。1 分以上たつと自動的にキャンセルされます。

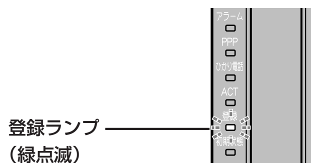
2　電話機のハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。



3　電話機のダイヤルボタンを「＊ ＊ ＊ 0 0」と押す

本商品前面の登録ランプが緑点滅します。



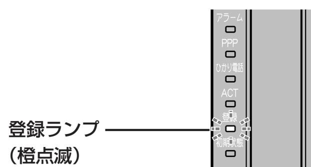


設定中に「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（「お知らせ」（☛4-10ページ）を参照してください。）

4　本商品前面の登録ランプが橙点滅することを確認する

「らくらく無線スタート」での設定が開始し、「ププ、ププ」と聞こえます。

※30 秒以内に次の手順に進んでください。30 秒以上たつと自動的にキャンセルされます。





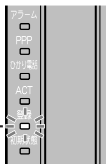
設定中に「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（「お知らせ」（☛4-10ページ）を参照してください。）

（次ページに続く）

5 電話機のダイヤルボタン「⊛」を押す

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、本商品前面の登録ランプが橙点灯します。

登録ランプ
(橙点灯)



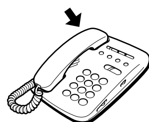


設定中に「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(「お知らせ」(☛下記)を参照してください。)

6 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

「らくらく無線スタート」での無線 LAN 設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

7 電話機のハンドセットを置く





お知らせ

- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 電話機からの設定については、3-17 ページの「お知らせ」も参照してください。
- アラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、「6-2　ご利用開始後のトラブル」(☛6-8 ページ)を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順 1 から設定を行ってください。

4-4 Windows® 7との無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）

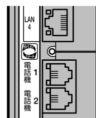
「無線LAN簡単接続機能」を使用して、Windows® 7搭載の無線LAN内蔵パソコンと本商品を無線接続するための設定を行います。本商品の「無線LAN簡単接続機能」の起動方法には、以下の方法があります。

- 「らくらくスタートボタン」で設定する（☛ 下記）
- 電話機から設定する（☛4-14ページ）
- 「Web設定」で設定する
  - ・おまかせモード（らくらく無線スタート＆無線LAN簡単接続機能）
  - ・「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式）
  - ・「無線LAN簡単接続機能」（PIN方式）
  - ※ おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN簡単接続機能）や「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式／PIN方式）については、「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を参照してください。

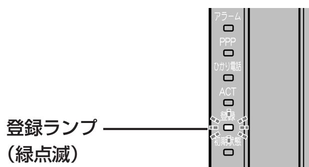
- 本機能で無線LANの設定が可能ですが、接続を保証するものではありません。
- 他の無線LAN端末のユーティリティやドライバがインストールされていると、Windows® 7の無線LAN接続に失敗する場合があります。その場合は、他の無線LAN端末のユーティリティやドライバをアンインストールしてください。
- 「無線LAN簡単接続機能」を使用して、Windows® 7搭載の無線LAN内蔵パソコンと本商品を接続する場合、本商品の「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）」を「しない」に設定する必要があります。
  （☛ ・SC-32NE/SC-32SE/SC-32KI/SC-32HIをご利用の場合：
  「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定］－［無線LAN設定（SC-32NE/SC-32SE/SC-32KI/SC-32HIをご利用の場合）］
  ・SC-40NE/SC-40NE「2」をご利用の場合：
  「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定］－［無線LAN設定（SC-40NE/SC-40NE「2」をご利用の場合）］）
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
- 「無線LAN簡単接続機能」での設定中は他の無線接続はいったん切断される場合があります。
- 本機能で2台以上の無線LAN端末を同時に設定することはできません。1台ずつ設定を行ってください。

「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）

1 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら放す



「無線LAN簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定によっては橙点滅する場合があります。）





設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（「お知らせ」（☛4-16ページ）を参照してください。）

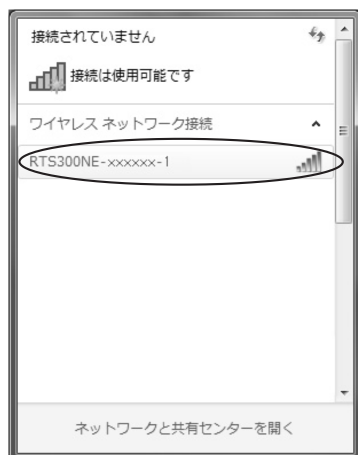
（次ページに続く）

2 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックする

※［スタート］（Windows ® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

3 本商品の SSID-1 に設定している無線ネットワーク名（SSID）をクリックする

※本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面を確認するか、「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」の［無線 LAN 設定］－［電話機から無線 LAN の設定をするには］を参照してください。

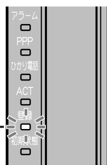


4 ［接続］をクリックする



5 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

登録ランプ（橙点灯）





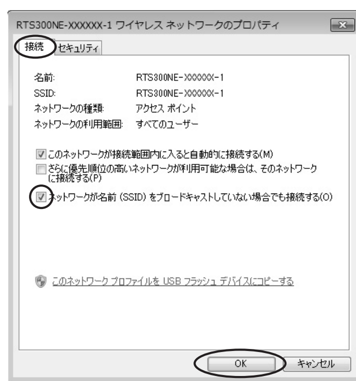
設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（「お知らせ」（☛4-16ページ）を参照してください。）

おまかせモード（無線LAN簡単接続機能）での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

6 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンを再度クリックする

7 手順3で選択した無線ネットワーク名（SSID）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

8 ［接続］タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、［OK］をクリックする

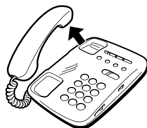


電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

1 電話機のハンドセットを取りあげる

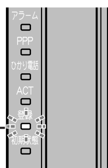
「ツー」という音を確認します。



2 電話機のダイヤルボタンを「⊛ ⊛ ⊛ ⓪ ⓪」と押す

本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定によっては橙点滅する場合があります。）

登録ランプ
（緑点滅）





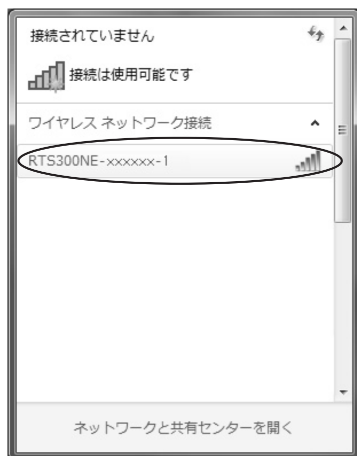
設定中に「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（「お知らせ」（☛4-16ページ）を参照してください。）

3 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックする

※［スタート］（Windows ® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

4 本商品の SSID-1 に設定している無線ネットワーク名（SSID）をクリックする

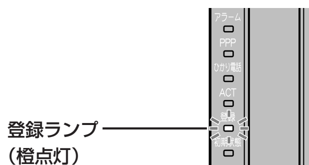
※本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面を確認するか、「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」の［無線 LAN 設定］－［電話機から無線 LAN の設定をするには］を参照してください。



5　［接続］をクリックする



6　本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

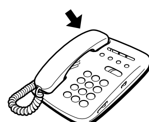




設定中に「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（「お知らせ」（☛4-16ページ）を参照してください。）

設定が完了すると、電話機のハンドセットから「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。
おまかせモード（無線LAN簡単接続機能）での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

7　ハンドセットを置く

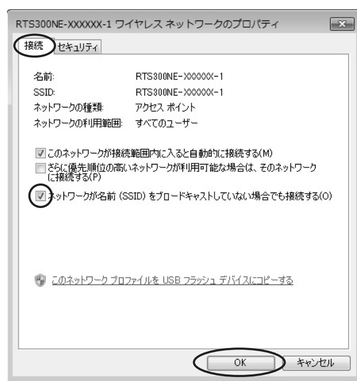


8　通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンを再度クリックする

9　手順4で選択した無線ネットワーク名（SSID）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

（次ページに続く）

10 ［接続］タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、［OK］をクリックする





お知らせ

- ●設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- ●間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- ●電話機からの設定については、3-17 ページの「お知らせ」も参照してください。
- ●アラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、「6-2　ご利用開始後のトラブル」（☛6-8 ページ）を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順 1 から設定を行ってください。

5 本商品のバージョンアップ

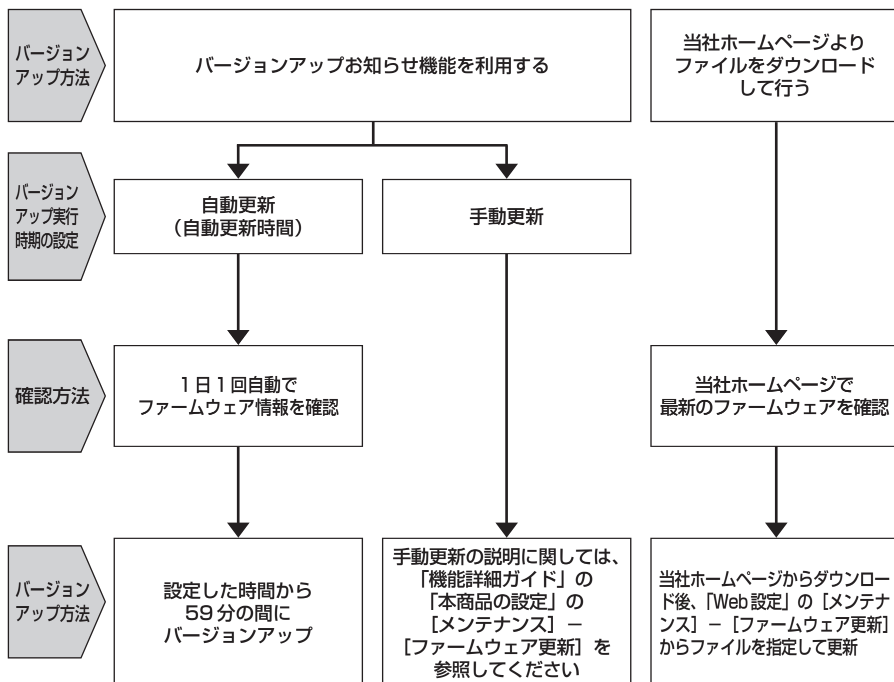
本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。

※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。

5-1　本商品のバージョンアップの流れ …………5-2

5-1 本商品のバージョンアップの流れ

本商品のバージョンアップは以下の手順で行います。
※本商品の初期値は、「自動更新」に設定されています。初期値のままご利用になることをお勧めします。バージョンアップの説明については「機能詳細ガイド」の「機能詳細説明」の［その他の機能］－［ファームウェア更新］を参照してください。



6 故障かな？と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。
該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

6-1　設置に関するトラブル……………………………6-2
6-2　ご利用開始後のトラブル…………………………6-8

6-1 設置に関するトラブル

本商品のご利用方法に合わせてどこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策を参照してください。

本商品前面の電源ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（a 参照）
↓はい	
本商品前面のアラームランプは消灯していますか？	→いいえ（b 参照）
↓はい	
本商品前面の ACT ランプが緑点灯していますか？	→いいえ（c 参照）
↓はい	
本商品前面の登録ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（d 参照）
↓はい	
本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していますか？ ※	→いいえ（e 参照）
↓はい	
ひかり電話が使えますか？ ※	→いいえ（f 参照）
↓はい	
本商品背面の LINK ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（g 参照）
↓はい	
パソコンの IP アドレスが設定されていますか？ （IP アドレスの確認方法は、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［「Web 設定」の使いかた］の「パソコンのネットワークの設定」を参照してください。）	→いいえ（h 参照）
↓はい	
Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されますか？	→いいえ（i 参照）
↓はい	
設定後、本商品前面の PPP ランプが点灯していますか？	→いいえ（j 参照）
↓はい	
インターネットに接続できましたか？	→いいえ（k 参照）
↓はい	
上記以外の症状が発生していますか？	→はい（l 参照）

※ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

a.本商品前面の電源ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
電源ランプが緑点灯しない	●電源アダプタ（電源プラグ）が壁などの電源コンセントから外れていないか確認してください。 ●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。 ●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。） ●電源アダプタ（電源プラグ）のコードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

b.本商品前面のアラームランプが消灯していない

症　状	原因と対策
アラームランプが赤点灯する	●初期状態ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアの更新中（手動更新またはファイル指定）です。ファームウェアの更新中は、本商品の電源を切らないでください。 ●本商品で異常が発生しています。約 15 分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

c.本商品前面の ACT ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
ACT ランプが緑点灯しない	●本商品と回線終端装置（ONU）、または VDSL モデムの両方に電源が入っていることを確認してください。（直接 RJ-45 モジュラージャックにつないでいる場合は、本商品の電源が入っていることを確認してください。） ●LAN ケーブルが本商品の WAN ポートと回線終端装置（ONU）、または VDSL モデム、壁のモジュラージャックの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。

d.本商品前面の登録ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
登録ランプが消灯または緑点滅している	●本商品にひかり電話の設定を行っています。しばらくお待ちになり、ひかり電話ランプと登録ランプが緑点灯することを確認してください。 数回再起動を行うことがありますが、電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。 ●ひかり電話開通日前に本商品を接続した場合には、登録ランプが消灯または緑点滅します。
登録ランプが赤点灯している	●自動設定サーバとの接続に失敗（認証エラー）しました。当社のサービス取扱所にご連絡ください。
登録ランプが赤点滅している	●本商品の WAN 側を中心に接続構成を確認してください。 WAN ポートに LAN ケーブルが正しく接続されていることや、回線終端装置（ONU）/VDSL モデムなどに電源が入っていることを確認してください。 ●自動設定サーバとの通信中にエラー（その他のエラー）が発生しました。しばらくお待ちになったあとで、本商品の電源を入れ直し、ひかり電話ランプと登録ランプが緑点灯することを確認してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。 ●初期状態ランプが橙点滅しているか確認してください。初期状態ランプが橙点滅している場合は、LAN 側 IP アドレス（サブネット）がひかり電話の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。

e.本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
ひかり電話ランプが消灯している	●本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。 ●本商品は WAN ポートに回線終端装置（または VDSL 宅内装置）を直接接続し、LAN ポートにパソコンを接続していただくようお願いします。本商品と回線終端装置（または VDSL 宅内装置）の間にハブ（またはルータなど）を接続している場合、ひかり電話を正常にご利用いただくことができない場合があります。 ※複数台のパソコンを利用するためハブを設置する必要がある場合は、ハブは本商品の LAN ポートに接続してご利用ください。

f.ひかり電話が使えない

症　状	原因と対策
ひかり電話が使えない	●本商品背面の電話機ポートと電話機が電話機コードで接続されていることを確認してください。 ●ひかり電話でかけられない番号があります。「接続可否番号一覧」（☛3-4 ページ）をご確認ください。最新の情報については、当社ホームページでご確認ください。 ●使用する電話機がホームテレホンの内線電話機や ISDN 対応電話機などである場合、または電話機の ACR 機能などが動作している場合はひかり電話が正しくご利用になれません。 ●電源を切ってすぐに電源を入れた場合、6 分～10 分程度ご利用になれない場合があります。そのまましばらくお待ちいただき、改善しない場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。

g.本商品背面の LINK ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
LINK ランプが緑点灯しない	●本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ●LAN ボードまたは LAN カードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ●LAN ケーブルが本商品の LAN ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ●本商品に付属している LAN ケーブルをお使いください。 ●「Web 設定」の［詳細設定］－［高度な設定］で［LAN 側 MDI/MDI-X モード］を「自動設定」に設定してみてください。（初期値は「MDI-X 固定」です。） ●再度本書の「2-1　設置・接続」（☛2-2 ページ）を参照のうえ配線の確認をしてください。また、パソコンが LAN ボードまたは LAN カードを認識しているかを確認してください。 ●パソコンのネットワーク接続でご利用になる LAN ポートが有効になっていることを確認してください。確認方法はパソコンの取扱説明書などを参照してください。 ● 1Gbps（1000Mbps）に対応していない LAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。 お客様で LAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは 1Gbps（1000Mbps）に対応した LAN ケーブルをご用意ください。

h.パソコンの IP アドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが「192.168.1.xxx」に設定されていない	●パソコンの設定が「IP アドレスを自動取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。 パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［「Web 設定」の使いかた］の「パソコンのネットワークの設定」を参照のうえ再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b.「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［「Web 設定」の使いかた］の「パソコンのネットワークの設定」を参照のうえ、パソコンのネットワークの設定を行ってください。

i.Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されない

症　状	原因と対策
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページが表示されない	●パソコンのネットワークの設定が間違っていないかどうか、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［「Web 設定」の使いかた］の「パソコンのネットワークの設定」を参照のうえ確認してください。 ●Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、本商品の「Web 設定」ページが表示されないことがあります。（「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［「Web 設定」の使いかた］の「Web ブラウザの設定」） ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットオプション］の［接続］で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。（「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［「Web 設定」の使いかた］の「Web ブラウザの設定」） ●本商品の［ポートセパレート］を「使用する」に設定していると、本商品に無線 LAN 接続された端末で「Web 設定」ページを表示できない場合があります。 本商品の「ポートセパレート」の設定を確認してください。詳細は、「Web 設定」の「無線 LAN 設定」－［無線 LAN 設定］－［マルチ SSID］を参照してください。

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページが表示されない（つづき）	●複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割り付けたパソコンから本商品を設定するには「http://ntt.setup/」と入力しても「Web 設定」ページは表示されません。Web ブラウザのアドレスに、プロバイダから本商品に割り当てられたグローバル IP アドレス（本商品の WAN 側 IP アドレス）（例えば http://200.200.200.1/）を入力してください。 ●ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアが終了されていることをご確認ください。 ●お客様のご利用環境によっては、「http://ntt.setup/」を入力しても「Web 設定」ページが表示されない場合があります。 表示されない場合は、本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時）を入力してください。 ●「工事中のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事中のため本商品の設定はできません。
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページが正常に表示されないまたは操作が正常にできない	●お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript™」を有効に設定してください。（「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［「Web 設定」の使いかた］の「JavaScript™の設定」） ●お使いの Web ブラウザが本商品に対応しているか「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［「Web 設定」の使いかた］を参照のうえ確認してください。

j.本商品前面の PPP ランプが点灯しない

症　状	原因と対策
PPP ランプが消灯している	●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4 PPPoE)］で接続したい接続先の［接続可］にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4 PPPoE)］で［接続先名］をクリックし、接続したい接続先の情報（接続先ユーザ名、接続パスワード）が正しく入力されているか確認してください。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4 PPPoE)］で［接続先名］をクリックし、［接続モード］を「要求時接続」に設定している場合、パソコンからインターネット接続を開始するまで、PPP ランプは消灯したままです。無通信時には PPP ランプが消灯しています。 ●PPPoE ブリッジ機能でのみ接続している場合は、PPP ランプは点灯しません。

k.インターネットに接続できない

症　状	原因と対策
インターネット上のホームページが開けない	●ネームサーバ（DNS サーバ）アドレスが間違っている →自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたネームサーバ（DNS サーバ）アドレスをプロバイダからの情報にしたがって「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4 PPPoE）］で［接続先名］をクリックし、DNS サーバアドレスの欄に入力してください。 ●Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、ホームページが表示されないことがあります。 ●Bフレッツでフレッツ・オフィスやフレッツ・グループアクセス／フレッツ・グループなどを利用して、プライベートネットワークを構築する場合で、そのネットワーク内に 192.168.1.xxx の IP アドレスがあると、正しく通信できないことがあります。このような場合は、本商品の LAN 側 IP アドレスを他と重複しないアドレスに設定変更してください。 ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の［接続］で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4 PPPoE）］で接続したい接続先の［接続可］にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」のトップページで、接続したい接続先の［状態］が「回線接続中」となっていることを確認してください。 ●「Web 設定」で設定した場合は、必ず画面左上の［保存］をクリックしてください。［保存］をクリックしないと本商品のファームウェアバージョンアップや再起動の際に設定が消えてしまう場合があります。

l.上記以外の症状が発生している

症　状	原因と対策
上記以外の症状が発生している	●最新のファームウェアが適用されているか確認してください。（「機能詳細ガイド」の「機能詳細説明」の［その他の機能］－［ファームウェア更新］） ●本商品の初期化および再設定を行ってください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

6-2 ご利用開始後のトラブル

以降の対策を行ってもトラブルが解決しない場合は、本商品のファームウェアのバージョンを確認し、最新のファームウェアに更新することを推奨します。

症　状	原因と対策
インターネットへのアクセスが遅い	●接続先サーバが混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてから、アクセスしてください。 ●接続先のプロバイダやインターネット上の経路が他の通信で混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてからアクセスしてください。
LAN ポートで通信速度が出ないまたは接続できない	● 1Gbps（1000Mbps）に対応していない LAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。 お客様で LAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは 1Gbps（1000Mbps）に対応した LAN ケーブルをご用意ください。
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.1.xxx は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」 というアドレス競合に関するエラーが表示された	●LAN 内に手動で設定している IP アドレスがあるかどうか確認してください。 ●［OK］をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう 1 台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 〈Windows® 7 および Windows Vista® の場合〉 ①［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押します。 ③IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Mac OS X 10.5 の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ②［Ethernet］を選択し、［詳細...］をクリックして［TCP/IP］タブをクリックします。 ③［DHCP リースを更新］をクリックします。 ④ IPv4 アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Mac OS X 10.4 の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ②［TCP/IP］タブをクリックして［表示］を［ネットワークポート設定］にして、内蔵 Ethernet のチェックを外し、［今すぐ適用］をクリックします。 ③再度、内蔵 Ethernet のチェックを入れ、［今すぐ適用］をクリックします。 ④［表示］を「内蔵 Ethernet」にして、IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。

症　状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない	●本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。 10 秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。 パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れます。 起動後、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［「Web 設定」の使いかた］の「パソコンのネットワークの設定」を参照のうえ再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b.次の手順で IP アドレスを取り直してください。 〈Windows ® 7および Windows Vista® の場合〉 ①［スタート］（Windows ® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」と入力して、［Enter］を押します。 ③IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Mac OS X 10.5 の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ②［Ethernet］を選択し、［詳細...］をクリックして［TCP/IP］タブをクリックします。 ③［DHCP リースを更新］をクリックします。 ④IPv4 アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Mac OS X 10.4 の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ②［TCP/IP］タブをクリックして［表示］を［ネットワークポート設定］にして、内蔵 Ethernet のチェックを外し、［今すぐ適用］をクリックします。 ③再度、内蔵 Ethernet のチェックを入れ、［今すぐ適用］をクリックします。 ④［表示］を「内蔵 Ethernet」にして、IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 ●「Web 設定」で設定した場合は、必ず画面左上の［保存］をクリックしてください。［保存］をクリックしないと本商品のファームウェアバージョンアップや再起動の際に設定が消えてしまう場合があります。
初期状態ランプが橙点滅する	●LAN 側 IP アドレス（サブネット）がひかり電話の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。
「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］設定変更時に、IP アドレスが重複していると表示され、設定できない	●LAN 側 IP アドレス（サブネット）がひかり電話または接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 ［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。

症　状	原因と対策
「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4 PPPoE）］で［接続先名］をクリックして、［IP アドレス］の設定を変更するときに、IP アドレスが重複していると表示され、設定できない	●LAN の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）が LAN の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。 ●ひかり電話または接続先の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または他の接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 接続先 IP アドレス管理者（Bフレッツでフレッツ・グループアクセスをご利用の場合はグループ管理者）にお問い合わせのうえ、「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4 PPPoE）］で［接続先名］をクリックして、IP アドレスを変更して設定してください。
「Web 設定」のトップページに IP アドレスが重複していると表示される	●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4 PPPoE）］の［状態］に、LAN の IP アドレスと重複していると表示されている場合、LAN の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4 PPPoE）］の［状態］に、ひかり電話または他の接続先の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または他の接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 接続先 IP アドレス管理者（Bフレッツでフレッツ・グループアクセスをご利用の場合はグループ管理者）にお問い合わせのうえ、「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4 PPPoE）］で［接続先名］をクリックして、重複している接続先の IP アドレスを変更して設定してください。
Web 設定できない	●「工事中のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事中のため本商品の設定はできません。
ハンドセットを取りあげると「ピーピーピーピー」と音がする	●最新のファームウェアがあることを通知しています（正常動作）。「⊛⊛⊛①①」とダイヤルしてファームウェアの更新を行ってください。
ハンドセットを置いたあとすぐに着信音が鳴る	●内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置いた場合は、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。 ●キャッチホンサービスやダブルチャネル／複数チャネルで、先にかかってきた電話とお話し中にかかってきた電話とを切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置いた場合は、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
ひかり電話の音声品質が安定しない	●「Web 設定」の［電話設定］－［ひかり電話共通設定］の［音声優先モード］を「優先」または「最優先」に設定します。
優先着信ポートと指定着信機能を同時に利用する設定ができない	●電話機 1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、指定着信機能の設定を行ってから、優先着信ポートの設定を行ってください。
停電復旧後、ひかり電話が利用できない	●本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯しているか確認してください。ひかり電話ランプが消灯、登録ランプが赤点滅している場合は、ひかり電話のご利用ができませんので、電源を入れ直してください。ひかり電話の設定が完了すると、本商品前面のひかり電話ランプ、登録ランプが緑点灯します。

症　状	原因と対策
電話機からの設定がエラーとなる	●本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、本商品の設定は行えません。 ●設定値によっては電話機からの設定がエラーとなる場合があります。詳しくは、3-20ページの「お知らせ」を参照してください。
発信時、設定した通知番号が相手先に通知されない	●本商品に接続するIP端末によっては、本商品の「通知番号」の設定にかかわらず、IP端末で「通知番号」に設定した電話番号が相手先に通知されることがあります。 IP端末の機能および「通知番号」の設定方法は、IP端末の取扱説明書などを参照してください。
ファームウェアの更新ができない	●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品へのバージョンアップを行うことができない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度ファームウェアの更新を行ってください。 ●本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
ファームウェア更新が突然実行される	●ネットワーク上の当社のサーバからの緊急のバージョンアップを要するファームウェアが提供された場合「ファームウェア更新種別」の設定にかかわらず、強制的に最新のファームウェアへの更新を行います。 電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。
アラームランプが赤点灯する	●初期状態ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアの更新中（手動更新またはファイル指定）です。ファームウェアの更新中は、本商品の電源を切らないでください。 ●本商品で異常が発生しています。約15分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
アラームランプが赤点滅する	●「無線LAN簡単セットアップ」に失敗しています。 「「無線LAN簡単セットアップ」が成功しない」を参照してください。（☛6-13ページ） ●本商品の拡張カードスロットに、「11N-ADP」のみが取り付けられています。 本商品の拡張カードスロットには、「SC-40NE」/「SC-40NE「2」」を装着した「11N-ADP」を取り付けてください。
突然、再起動した	●当社のひかり電話設備の工事に伴い、自動的に再起動されることがあります。電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。
無線LAN通信ができない	●暗号化方式でWEPをご利用になる場合、使用するWEPキー（キーインデックス）およびWEPキー（WEPキー1～4）の設定は本商品と接続する無線LAN端末との間で同じ設定にしてください。 （☛「機能詳細ガイド」の下記を参照してください。） ・SC-32NE/SC-32SE/SC-32KI/SC-32HIをご利用の場合： 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定］－［無線LAN設定（SC-32NE/SC-32SE/SC-32KI/SC-32HIをご利用の場合）］－［使用するWEPキー（キーインデックス）］ ・SC-40NE/SC-40NE「2」をご利用の場合： 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定］－［無線LAN設定（SC-40NE/SC-40NE「2」をご利用の場合）］の［使用するWEPキー（キーインデックス）］ ●本商品の拡張カードスロットに無線LANカードが正しく取り付けられているか「4-1　本商品への無線LANカードの取り付け」（☛4-2ページ）を参照のうえ、確認してください。

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
無線 LAN 通信ができない (つづき)	●本商品と接続する無線 LAN 端末の使用チャネルが一致していることを確認してください。使用する無線 LAN 端末によっては、IEEE802.11g/b の 12ch、13ch や IEEE802.11a（W53、W56）は使用できない場合があります。自動設定でつながらない場合は無線 LAN 端末の設定を確認して、使用チャネルの設定を変更してください。 (☛「機能詳細ガイド」の下記を参照してください。) ・SC-32NE/SC-32SE/SC-32KI/SC-32HI をご利用の場合： 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定（SC-32NE/SC-32SE/SC-32KI/SC-32HI をご利用の場合）］ ・SC-40NE/SC-40NE「2」をご利用の場合： 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定（SC-40NE/SC-40NE「2」をご利用の場合）］ ●「Web 設定」で設定した場合は、必ず画面左上の［保存］をクリックしてください。［保存］をクリックしないと本商品のファームウェアバージョンアップや再起動の際に設定が消えてしまう場合があります。 ● MAC アドレスフィルタリングが「使用する」になっている →本商品の MAC アドレスフィルタリングが「使用する」となっている場合、無線 LAN 端末の MAC アドレスを MAC アドレスエントリに登録する必要があります。（☛「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」の［無線 LAN 設定］－［MAC アドレスフィルタリング］－［接続を許可する無線 LAN 端末の MAC アドレス編集］） ●本商品に IEEE802.11n 方式対応の無線 LAN 端末を接続する際、無線 LAN 端末の暗号化方式を WPA-PSK（TKIP）または WPA2-PSK（TKIP）に設定していると接続できない場合があります。無線 LAN 端末の暗号化方式を WPA-PSK（AES）または WPA2-PSK（AES）に変更するか、動作モードを IEEE802.11g 方式または IEEE802.11b 方式に変更して使用してください。 ●本商品に最新のファームウェアが適用されているか確認してください。（☛「機能詳細ガイド」の「機能詳細説明」の［その他の機能］－［ファームウェア更新］） ●以上を確認しても、無線 LAN 通信ができない場合は無線 LAN カードの取扱説明書などを参照してください。

症　状	原因と対策
「無線LAN簡単セットアップ」が成功しない	●本商品の拡張カードスロットに無線LANカードが正しく取り付けられていない →「4-1　本商品への無線LANカードの取り付け」(☛4-2ページ)を参照のうえ、確認してください。 ●MACアドレスフィルタリングのすべてのエントリが登録済みになっている →本商品のMACアドレスフィルタリングのすべてのエントリが登録済みになっていると「無線LAN簡単セットアップ」の設定ができません。「Web設定」の［無線LAN設定］－［MACアドレスフィルタリング］で本商品のMACアドレスフィルタリングの設定を確認してください。 ●本商品の無線LAN動作モードが「IEEE802.11a固定」になっている →無線LAN端末でIEEE802.11aに対応していない場合があります。「Web設定」の［無線LAN設定］－［無線LAN設定］の［無線LAN動作モード］で本商品の無線LAN動作モードを確認してください。 ●本商品の使用するWEPキー（キーインデックス）がWEPキー1になっていない →無線LAN端末でWEPキー2～4は対応していない場合があります。本商品の無線の暗号化設定を確認してください。 (☛「機能詳細ガイド」の下記を参照してください。) ・SC-32NE/SC-32SE/SC-32KI/SC-32HIをご利用の場合： 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定］－［無線LAN設定（SC-32NE/SC-32SE/SC-32KI/SC-32HIをご利用の場合)］の［マルチSSID設定（SSID-2を選択した場合)］の［使用するWEPキー（キーインデックス)］ ・SC-40NE/SC-40NE「2」をご利用の場合： 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定］－［無線LAN設定（SC-40NE/SC-40NE「2」をご利用の場合)］の［マルチSSID設定（SSID-2を選択した場合)］の［使用するWEPキー（キーインデックス)］ ●本商品と無線LAN端末で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない →無線LAN端末の取扱説明書などで使用可能な暗号化方式や暗号化強度を確認し、本商品に設定してください。 ●本商品に他の設定を行っている →本商品の設定中は「無線LAN簡単セットアップ」での設定は行えません。 他の設定が終了してから行ってください。 ●ひかり電話使用中、および使用後一定時間内に設定を行っている →ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定は行えない場合があります。 ひかり電話使用後一定時間たってから行ってください。 ●登録ランプが緑点灯していない →登録ランプが緑点灯していない場合は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定は行えません。「6-1　設置に関するトラブル」(☛6-2ページ）を参照してください。 設定中の「無線LAN簡単セットアップ」が完了していない場合は、登録ランプが緑点灯してから設定を行ってください。 ●2台以上のパソコンで無線LAN簡単接続機能を起動している →2台以上のパソコンで無線LAN簡単接続機能を起動している場合は、「無線LAN簡単セットアップ」の設定に失敗します。 1台ずつ設定を行ってください。

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
「無線 LAN 簡単セットアップ」が成功しない（つづき）	●Windows® 7搭載の無線 LAN 内蔵パソコンが接続できない →本商品の「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否)」を「しない」に設定してください。 （☛「機能詳細ガイド」の下記を参照してください。） ・SC-32NE/SC-32SE/SC-32KI/SC-32HI をご利用の場合： 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定（SC-32NE/SC-32SE/SC-32KI/SC-32HI をご利用の場合)］ ・SC-40NE/SC-40NE「2」をご利用の場合： 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定（SC-40NE/SC-40NE「2」をご利用の場合)］ →パソコンで、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」の設定（☛4-13、4-16 ページ）を行ってください。
「らくらく無線スタート」が成功しない	●本商品の無線の暗号化が「なし」に設定されている →本商品の無線の暗号化が「なし」に設定されている状態で、「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。本商品の無線の暗号化が「なし」に設定されている状態で設定に失敗した場合、「らくらく無線スタート」には、自動的に、本商品の無線の暗号化を設定する機能があります。アラームランプが消灯してから、もう一度、「らくらく無線スタート」を実行してください。 自動的に設定される設定値については、「① SSID-1 に設定した場合」（「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」の［無線 LAN 設定］－［電話機から無線 LAN の設定をするには］）を参照してください。 ●本商品に無線の暗号化が WPA2-PSK に設定されている →本商品の無線の暗号化が WPA2-PSK に設定された状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。無線 LAN 動作モードが IEEE802.11a 方式、IEEE802.11g 方式、および IEEE802.11n 方式に対応したゲーム機と接続する場合は、本商品の SSID-1 の無線の暗号化設定を確認してください。 無線 LAN 動作モードが IEEE802.11b 固定のゲーム機と接続する場合は、本商品の SSID-2 の無線の暗号化設定を確認してください。 ●インターネットに接続できていない →本商品前面の PPP ランプが消灯している場合は、インターネットに接続できません。「無線 LAN 簡単セットアップ」で無線 LAN 設定後、ゲーム機からのインターネット接続の確認に失敗する場合は、「6-1　設置に関するトラブル」（☛6-2 ページ）を参照して、本商品の接続や設定を確認してください。 ●本商品の「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否)」を「する」に設定し、SSID-1 を「＊＊＊＊＊＊」に設定している →本商品の「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否)」を「する」に設定し、SSID-1 を「＊＊＊＊＊＊」に設定している状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否)」を「しない」に設定するか、SSID-1 を「＊＊＊＊＊＊」以外に設定してください。 ●本商品の SSID-2 を「使用しない」に設定している →本商品の SSID-2 を「使用しない」に設定している状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。SSID-2 を「使用する」に設定してください。
他の対策を実施しても、改善が見られない	●電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いたあと、10 秒以上たってからもう一度差し込んでください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

7

付録

7-1　本商品の初期化 ………………………………… 7-2
7-2　索引 ……………………………………………… 7-3
7-3　仕様一覧 ………………………………………… 7-5

7-1 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。

本商品が正常に動作しない場合や機器設定用パスワードを忘れたり、IP アドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
「Web 設定」で初期化することもできます。詳細は、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［メンテナンス］－［設定値の初期化］を参照してください。
初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますので、設定内容をパソコンのハードディスクに保存しておくことを推奨します。
保存方法は「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の［メンテナンス］－［設定値の保存&復元］を参照してください。

ひかり電話に関する設定もすべて消去されます。初期化後、本商品が起動すると、再度ひかり電話の自動設定が行われます。ひかり電話の利用が可能になると登録ランプ、ひかり電話ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。ひかり電話の自動設定が完了した状態でも初期状態ランプは橙点灯します。

■設定初期化について

本商品の初期化は、下記の手順で行います。

1 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く

2 10 秒以上たってから、電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む

3 本商品前面の全ランプが点灯している間に、本商品背面の初期化スイッチを押す（初期状態ランプが橙点灯するまで押し続ける）

起動後、初期状態ランプが橙点灯になれば、初期化完了です。

※初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。
故障の原因となることがあります。



お知らせ

●本商品に設定する接続先ユーザ名や接続パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分ご注意ください。本商品を当社に返却する場合など、本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

7-2 索引

[数字]

10/100/1000BASE-T ランプ………1-8
11N-ADP…………………………4-3、4-4

[A ～ Z]

ACT ランプ ……………………1-6、3-2
LAN ケーブル ……………………1-2、1-3
LAN ポート ……………………1-8、7-5
LINK ランプ ……………………………1-8
ONU ……………………………………2-5
PPP ランプ ………………………………1-6
RJ-45 モジュラージャック …………2-11
RT-S300NE 機能詳細ガイド（CD-ROM）
……………………………17、1-2、1-3
SC-32NE …………………1-4、1-5、4-2
SC-40NE/SC-40NE「2」…1-4、4-3、4-4
VDSL モデム ……………………………2-8
WAN ポート
…………1-8、2-5、2-8、2-11、7-5
Web 設定 ………………………………18

[ア行]

アラームランプ……………………1-6、1-7
一斉着信 ……………………………3-12
お客様サポート ……………………裏表紙

[カ行]

回線終端装置……………………………2-5
拡張カードスロット
……………………1-8、4-2、4-3、4-4
各部の名前………………………………1-6
機器設定用パスワード …………………18
機能詳細ガイド …………………………17
キャッチホン……………………………3-6
キャッチホン・ディスプレイ …………3-11
故障かな？と思ったら…………………6-1
個別着信 ………………………………3-12
ご利用開始後のトラブル………………6-8

[サ行]

指定着信機能 …………………………3-14
仕様一覧…………………………………7-5
初期化……………………………………7-2
初期化スイッチ ……………………1-8、7-2
初期状態ランプ ……………1-6、1-7、7-2
接続………………………………………2-5
　回線に～する…………………………2-5
接続可否番号一覧………………………3-4
接続先ユーザ名 …………………………19
接続パスワード …………………………19
設置する…………………………………2-2
設置に関するトラブル…………………6-2
設定一覧 ………………………………3-18
設定する
　ゲーム機との無線 LAN の～ …………4-7
　電話機から～
　……………3-16、4-6、4-9、4-14
　内線番号 ……………………………3-11
　本商品の～ ……………………………18
　無線 LAN 簡単接続機能 ……4-5、4-11
　「らくらくスタートボタン」で～
　……………………4-5、4-7、4-11
セットの確認……………………………1-2

[タ行]

縦置き／壁掛け共用スタンド……1-2、1-3
　～を付けて縦置きにする……………2-2
　～を用いずに壁掛けにする…………2-4
　～を用いて壁掛けにする……………2-3
ダブルチャネル／複数チャネル…………3-9
着信鳴り分け …………………………3-12
電源アダプタ ……………………1-2、1-3
電源アダプタ端子………………………1-8
電源ランプ ………………………1-6、3-2
電子マニュアル …………………………17
電話機ポート ……………………1-8、7-5
登録ランプ ………………1-6、1-7、3-2

[ナ行]

内線通話…………………………………3-5
内線転送…………………………………3-5
ナンバー・ディスプレイ………………3-8

[ハ行]

バージョンアップ………………………5-1
発信者情報（番号）の通知……………3-9
ひかり電話
　受けかた………………………………3-3
　かけかた………………………………3-2
　使いかた ……………………………3-11
　電話番号 ……………………………3-11
　発着信できるサービス………………3-4
　付加サービス…………………………3-6
ひかり電話ランプ ………………1-6、3-2
フッキング ………………………3-5、3-7

[マ行]

マイナンバー／追加番号 ………………3-10
無線 LAN カード …………1-4、1-5、4-2
　取り付け …………………………4-2、4-4
　取り外す …………………………4-2、4-4
無線 LAN の設定…………4-5、4-7、4-11
メディア変更機能 ………………………3-15
モデムダイヤルイン ……………………3-12

[ヤ行]

ユーザー名 …………………………………18
優先着信ポート …………………………3-13

[ラ行]

らくらくスタートボタン
　…………………1-8、4-5、4-7、4-11
らくらく無線スタート……………………4-7
ランプの確認………………………………3-2
ランプ表示 …………1-6、1-7、1-8、7-5

[ワ行]

割込音通知 ………………………………3-12

7-3 仕様一覧

■ ハードウェア仕様		
項　目		仕　様
WAN ポート	インタフェース	1000BASE-T／100BASE-TX／10BASE-T (IEEE802.3ab／IEEE802.3u／IEEE802.3) オートネゴシエーション
	コネクタ形状	8ピンモジュラージャック（RJ-45）
	ポート数	1ポート
LAN ポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック（RJ-45）
	ポート数	4ポート（スイッチングハブ内蔵）
	規格	1000BASE-T／100BASE-TX／10BASE-T (IEEE802.3ab／IEEE802.3u／IEEE802.3) オートネゴシエーション
無線LAN ポート※1	インタフェース	PC Card Standard（CardBus）Type Ⅱ準拠
	スロット数	1スロット
電話機 ポート	物理インタフェース	6ピンモジュラージャック（RJ-11）
	ポート数	2ポート
	供給電圧	約－48V（無負荷時）
ランプ 表示 ※2	電源ランプ	電源通電時：緑点灯
	アラームランプ	装置障害時：赤点灯、「無線LAN簡単セットアップ」設定失敗時：赤点滅
	PPPランプ	1セッション接続中：緑点灯、2セッション以上接続中：橙点灯
	ひかり電話ランプ	ひかり電話利用可能時：緑点灯、 ひかり電話通話中／着信中／呼び出し中：緑点滅
	ACTランプ	WAN回線利用可能時：緑点灯、 WAN回線でデータ通信中：緑点滅
	登録ランプ	ひかり電話設定完了時：緑点灯、 ひかり電話設定中：緑点滅、 ひかり電話設定失敗時：赤点灯／赤点滅 「無線LAN簡単セットアップ」設定中：緑点滅／橙点滅、 「無線LAN簡単セットアップ」設定完了時：橙点灯
	初期状態ランプ	工場出荷状態：橙点灯、IPアドレス重複時：橙点滅
操作部	初期化	設定初期化用スイッチ
	らくらくスタート	無線LAN簡単セットアップ用など
筐体外観		縦置き壁掛け両用型
動作環境		温度：0～40℃　湿度：20～85%（結露しないこと）
外形寸法		約40（W）×175（D）×190（H）mm（突起部分を除く）
電源		AC100±10V　50/60Hz
消費電力		最大15W（電源アダプタ含む）
質量		約0.5kg（電源アダプタ、無線LANカード含まず）
電磁妨害波規格		VCCIクラスB

※1　本商品専用の無線LANカード（SC-32NE、SC-32SE、SC-32KI、SC-32HI、SC-40NE/SC-40NE「2」）のみご利用になれる拡張カードスロットです。
詳しくは「4-1　本商品への無線LANカードの取り付け」を参照してください。

※2　節電機能動作時は、アラームランプ、PPPランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプが消灯します。

■ ソフトウェア仕様

項目		仕様	
ルータ機能	WANプロトコル	PPPoE（PPP over Ethernet）	
	PPP認証	自動認証（CHAP/PAP）／CHAP固定／PAP固定	
	PPP接続／切断	常時接続（自動接続）／要求時接続（無通信時切断）	
	接続先数	IPv4セッション	登録：5箇所、同時接続：5箇所
		IPv6セッション	登録：1箇所、同時接続：1箇所
	ルーティング方式	スタティックルーティング（最大40経路）	
	DHCPサーバ機能	あり（最大255アドレス割当）	
	Proxy DNS機能	あり（LAN側DNSサーバ指定可）	
	NAT機能	IPマスカレード：最大4096セッション、 静的NAT：最大64アドレス	
	静的IPマスカレード機能	あり（ポート番号の範囲指定可）	
	ユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP）機能	あり	
	DMZホスト機能	あり（LAN側IPアドレス指定による）	
	複数固定IPサービス対応機能	あり	
	パケットフィルタ機能	フィルタ種別、送信元IPアドレス、宛先IPアドレス、プロトコル種別、送信元ポート、宛先ポート、方向指定可能	
	セキュリティ保護機能	不正アクセス拒否機能（LAND攻撃、smurf攻撃、IP Spoofing攻撃）、不正アクセス検出機能（LAND攻撃、smurf攻撃、IP Spoofing攻撃）	
ブリッジ機能	ブリッジ対象	PPPoEパケット、IPv6パケット（Bフレッツをご利用の場合のみ）	
VoIP機能	接続手順	SIP	
	音声CODEC	ITU-T G.711 μ-law	
	エコーキャンセラ	ITU-T G.168	

■ ソフトウェア仕様

	項　目	仕　様	
設定・保守機能	設定方法	Web ブラウザ、電話機による設定・保守	
	状態表示機能	回線状態、WAN 側 IP アドレス、バージョン情報他	
	時計機能	あり	
	ログ機能	あり	
	設定値の保存・復元機能	ファイルに保存、ファイルからの復元	
	ファームウェアバージョンアップ機能	Web ブラウザを使用、電話機を使用	
無線 LAN 機能（拡張カードスロットに無線 LAN カード（SC-32NE ※2）を取り付けた場合）	IEEE802.11a（W52）	周波数帯域／チャネル	5.2GHz 帯（5,150 ～ 5,250MHz）／36、40、44、48ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度 ※ 1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動切換）
	IEEE802.11b	周波数帯域／チャネル	2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）／1 ～ 13ch
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式
		伝送速度 ※ 1	11/5.5/2/1Mbps（自動切換）
	IEEE802.11g	周波数帯域／チャネル	2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）／1 ～ 13ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度 ※ 1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動切換）
	アンテナ	ダイバーシティ方式	
	セキュリティ	無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）、MAC アドレスフィルタリング、ポートセパレート、WEP（152/128/64bit）、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（TKIP/AES）、WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）	

■ ソフトウェア仕様

項　目		仕　様	
無線 LAN 機能（拡張カードスロットに無線 LAN カード（SC-40NE/SC-40NE「2」）を取り付けた場合）	IEEE802.11b	周波数帯域／チャネル	2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）／1 ～ 13ch
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式
		伝送速度 ※ 1	11/5.5/2/1Mbps（自動切換）
	IEEE802.11g	周波数帯域／チャネル	2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）／1 ～ 13ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度 ※ 1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動切換）
	IEEE802.11n	周波数帯域／チャネル	2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）／1 ～ 13ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式 MIMO（空間多重）方式
		伝送速度 ※ 1	[HT20] 144.4/130/117/104/78/72.2/65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5Mbps [HT40] 300/270/243/216/162/150/135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5Mbps （自動切換）
	アンテナ	MIMO 送信 2 ×受信 2	
	セキュリティ	無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）、MAC アドレスフィルタリング、ポートセパレート、 WEP（128/64bit）、WPA-PSK（TKIP/AES）、 WPA2-PSK（TKIP/AES）、WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）	

※ 1　無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。

※ 2　SC-32SE/SC-32KI/SC-32HI を取り付けた場合も含みます。

MEMO

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的に参照していただくことをお勧めします。

当社ホームページ：[NTT東日本] http://web116.jp/ced/
[NTT西日本] http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

○本商品を利用した基本的なインターネット接続について

フレッツ光を新規にお申し込みいただいた際にお送りしております「設定用CD-ROM」のご利用により本商品の基本的なインターネット接続設定が簡単に実施が可能です。

ご利用には「設定用CD-ROM」が添付された冊子「超カンタン設定ガイド」を参照していただくか、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：**0120-275466**（10:00～18:00　年中無休）

※携帯電話からは下記までお問い合わせください。

0570-064074

（10:00～18:00　年中無休　PHSからはご利用になれません。また通話料がかかります。）

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先：フリーアクセス **0120-970413**（9:00～17:00）

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合

03-5667-7100（通話料金がかかります。）

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先：**0120-000113**（24時間　年中無休※）

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品のお取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ

□お問い合わせ先：フリーアクセス **0120-248995**

（携帯電話・PHSからも利用可能です。）

□受付時間

・本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ：9:00～17:00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

・故障に関するお問い合わせ：24時間（年中無休）※

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理対応時間は9:00～17:00です。

お問い合わせ時には、フレッツ光を新規にお申込みいただいた際にお送りしております「開通のご案内」をご用意ください。
また、インターネット接続の設定をしている場合は、ご契約のプロバイダ資料についてもご用意ください。
なお、電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

NTT

本2927-17（2014.9）



RT-S300NEトリセツ